PagePro® 1250E
ユーザーズガイド

1800690-014B

登録商標および商標

QMS および MINOLTA-QMS ロゴは、MINOLTA-QMS, Inc. の登録商標です。

Minolta、Fine-ART および PagePro は、ミノルタ株式会社の商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、MINOLTA-QMS, Inc. に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へも MINOLTA-QMS, Inc. の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権は MINOLTA-QMS, Inc. に帰属します。書面による MINOLTA-QMS, Inc. の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。

本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備について、および本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

MINOLTA-QMS, Inc. は責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついては保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

1　はじめに

2　プリンタのセットアップ

3　プリンタドライバのインストール

4 Windows PCL プリンタドライバの使いかた

5 Windows PostScript プリンタドライバの使いかた

6 Windows プリンタツールの使いかた

1 はじめに

1.1 ようこそ

PagePro 1250E をお買い上げいただきありがとうございます。

本マニュアルは、本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために必要な情報を提供しています。

- プリンタドライバのインストール方法
- プリンタドライバおよびプリンタツールの使いかた
- プリンタの使いかた
- プリンタのお手入れおよびメンテナンス
- トラブルの対処方法

1.2 本マニュアルの構成

下の表は本マニュアルの内容をわかりやすく整理したものです。また、知りたい情報について記載されている箇所をすばやく的確に見つけるために、巻末の索引もご利用ください。

番号	章の題名	章の内容
1	はじめに	本マニュアルの概要
2	プリンタのセットアップ	プリンタの設定方法に関する情報とプリンタ機能について
3	プリンタドライバのインストール	プリンタドライバのインストール手順の各ステップ説明
4	Windows PCL プリンタドライバの使いかた	Windows PCL プリンタドライバの概要
5	Windows PostScript プリンタドライバの使いかた	Windows PostScript プリンタドライバの概要
6	Windows プリンタツールの使いかた	ステータスモニターおよびプリンタコントロールパネルの使用方法の詳細
7	Macintosh プリンタドライバの使いかた	Macintosh プリンタドライバを使ってプリンタをコントロールする方法の詳細
8	プリンタの使いかた	サポートされている用紙のサイズと種類、用紙のセット、印刷ジョブのモニタリング、印刷ジョブのキャンセルを含むプリンタの使用方法に関する一般情報
9	プリンタオプションの取りつけ	プリンタオプションの取りつけに関する詳しい説明 : 給紙ユニット、フェースアップトレイおよびSDRAM-DIMM（デュアルインラインメモリモジュール）
10	プリンタのメンテナンス	消耗品の交換方法ならびにプリンタのクリーニングについて
11	トラブルシューティング	プリンタに関する問題の識別と解決に関する情報
12	仕様	技術仕様、安全情報おび規制情報
	索引	本マニュアルの内容の索引

本マニュアル内のマークについて

本マニュアルでは、特に強調したい情報などをマークなどを使って表記しています。本マニュアルで使われているマークには次のような意味があります。

注意（または警告）

これは注意（または警告）です！
注意は不適切な取扱いによってプリンタに損害が与えられかねないことについて注意を促し、警告は身体に害を及ぼすおそれを警告するものです。

➜ 安全に使用していただくために、必ずこの注意（警告）事項をお守りください。

[メニュー]

プリンタドライバの画面上に表示されるボタンを示します。

➜

操作ステップが 1 つだけの（他にステップがない）場合の説明

1 ステップ 1

2 ステップ 2

? *ここでヘルプを参照することができます。*

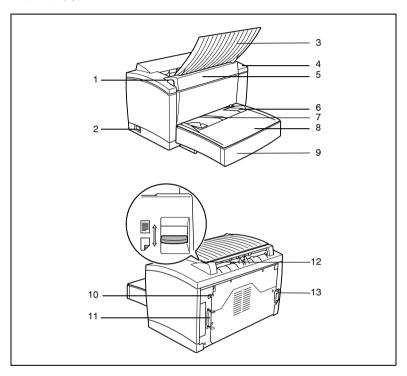
➜ ここで提案されたアプローチをとれば確実に目的の結果を得ることができます。

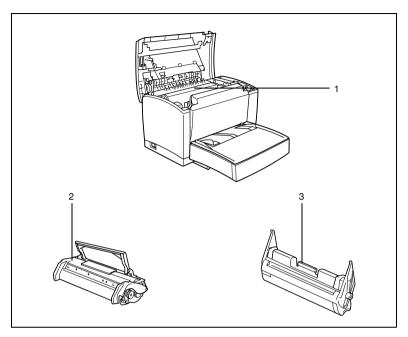
ここに行うべき操作が
表示されています。

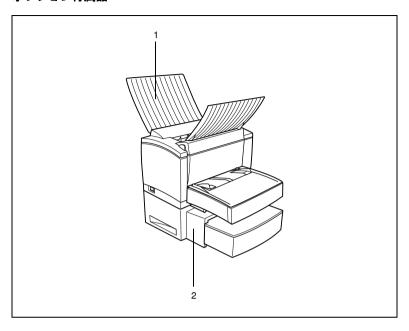
ここにはヒントが表示されています。
プリンタを使いやすくするためのヒントとコツが示されています。

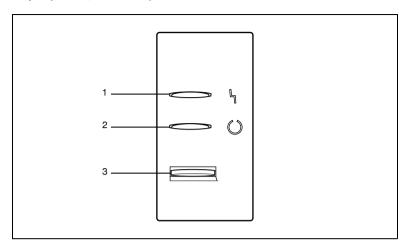
2 プリンタのセットアップ

2.1 各部の名称

プリンタ本体

番号	内容	番号	内容
1	上カバー開閉ボタン	8	トレイカバー
2	電源スイッチ（オン / オフ）	9	トレイ 1（ユニバーサルトレイ）
3	フェースダウントレイ（印刷面が下）	10	USB インターフェースコネクター
4	コントロールパネル	11	パラレルインターフェースコネクター
5	上カバー	12	フェースアップ / フェースダウン切り替えスイッチ（印刷面が上／下）
6	手差しトレイ用紙ガイド	13	電源コードソケット
7	手差しトレイ		

プリンタ内部

番号	内容	番号	内容
1	定着ユニット	3	ドラムカートリッジ
2	トナーカートリッジ		

オプション付属品

番号	内容	番号	内容
1	フェースアップトレイ （印刷面が上）	2	給紙ユニット（トレイ 2）（容量 500 枚）

プリンタコントロールパネル

コントロールパネルにはランプが 2 つとボタンが 1 つあります。

番号	内容
1	エラーランプ（オレンジ）
2	オンラインランプ（緑）
3	パネルボタン

コントロールパネルに関して詳しくは、8-4 ページを参照してください。

2.2 設置上のご注意

設置場所の選択

プリンタを設置するときは以下のような場所を選択してください。

- 乾燥していて誇りの少ない場所
- 振動のない丈夫で水平な場所
- 換気のよい場所
- 電源のコンセントが近く、さえぎるものがない場所
- 水やその他の液体がかからない場所
- ヒーター、エアコン、エアコンの排気口などの風が当たらない場所
- プリンタの換気口をふさぐものがないように注意する
- カーテンや可燃性のものの近くに置かない
- アンモニアや有機ガスが発生する場所では使用しない
- 温度変化の激しい場所には置かない
- 直射日光が当たらないことを確認する

消耗品および付属品の保管

プリンタの消耗品および付属品の取扱いは、次の注意にしたがってください。

- もとのパッケージに入れて保管する
- 直射日光や熱を避ける
- 蛍光灯を避ける
- 埃を避け、涼しく乾燥した場所に保管する
- 子供の手の届かない場所に保管する

警告

トナーの取扱いには注意が必要です
トナーが口などに入ると人体に害を与えます。

➜ トナーが口に入ってしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

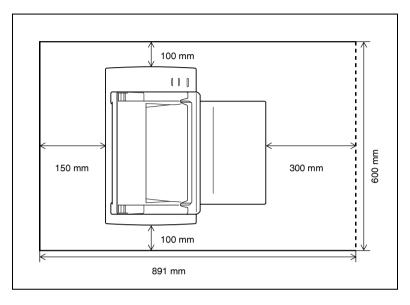
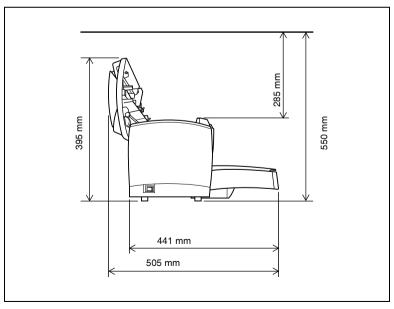
➜ トナーが手についた場合は、すぐに水や中性洗剤などを使って洗い流してください。

使用環境

いつもよい条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

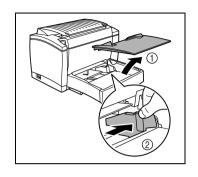
- 気温 10 ℃～ 35 ℃　1 時間の温度変化 10 ℃以内
- 湿度 15%～ 85%　1 時間の湿度変化 20%以内

設置スペース

操作、用紙やトナーの交換、メンテナンスがしやすいようにプリンタの周りに十分なスペースを確保してください。

2.3 プリンタのセットアップ

トレイ1に用紙をセットする

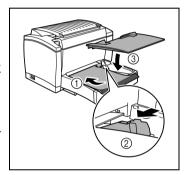
1 トレイカバーを外します。

2 右側の用紙ガイドをつまんで用紙ガイドを開きます。

3 トレイに用紙を置きます。

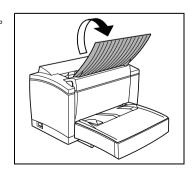
? *トレイに何枚まで用紙をのせられますか？*

➜ トレイ1には普通紙の場合250枚までのせられます。用紙の束が最大補給量マークを超えないようにします。

? *リーガルサイズの用紙の場合はどうすればいいのですか？*

➜ トレイ前側のカバーを開いてください。

4 右側の用紙ガイドをつまみ、用紙幅に合わせて用紙ガイドを調整します。

5 トレイカバーを取りつけます。

6 フェースダウントレイを開きます。

❍ オプションのフェースアップトレイを取り付けて印刷面を上向きに排紙する場合は、フェースダウントレイの代わりにフェースアップトレイを開き、右図のようにフェースアップ／フェースダウン切り替えスイッチを“フェースアップ”にセットします。

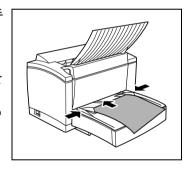
手差しトレイへの用紙セット

1 トレイカバーがトレイ 1 に取りつけられていることを確認します。

2 用紙ガイドを開きます。

3 印刷する面を上にして用紙を1枚手差しトレイの奥まで挿入し、用紙ガイドを用紙の幅に合わせて調節します。

? *トレイには何枚用紙を入れることができますか？*

➜ 一度にセットする用紙は 1 枚のみにしてください。

電源コードの接続

警告

プリンタに同梱された電源コードのみを使用してください。間違ったコードを使用した場合回線がショートする可能性があります！
電源コードの仕様が適切でない場合、回線がショートする可能性があります。

➜ 現在のプリンタの消費電力よりも大きい容量の延長コードを使用してください。

➜ アース線付きコードを使用してください。

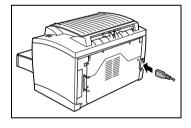
➜ 電気製品のメインネットワークへの接続については、常に適用される地域の規制に従ってください。

電圧や周波数変動の少ない電源を使用してください。必要に応じて電気業者にご相談ください。

✔ 電圧　110 V ～ 10%, 127 V +6%, 220 ～ 240 V ± 10%

✔ 周波数　50 ～ 60 Hz ± 3 Hz

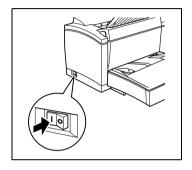
1 プリンタの電源スイッチが「○」（オフ）になっていることを確認してください。

2 電源コードの片端をプリンタ裏側の電源ソケットに接続し、もう片側をコンセントへ差しこんでください。

電源スイッチのオン／オフ

ご注意
不適切な取扱いをするとプリンタが故障するおそれがあります。
印刷ジョブの進行中、プリンタがコンピュータからデータを受信中（コントロールパネルのオンラインランプが点滅中）、またはプリンタのリセット中に電源スイッチを切らないでください。

➜ 電源をオンにするには、電源スイッチの「｜」（オン）側を押します。

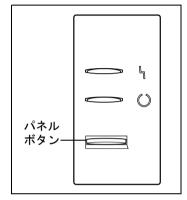
約 20 秒後にプリンタの準備が完了します。オンラインランプ（緑色）が点灯し（点滅はしません）、エラーランプ（オレンジ色）は消灯します。

➜ 電源をオフにするには、電源スイッチの「〇」（オフ）側を押します。

エネルギー節約を心がけましょう！
プリンタが一定時間使用されないと、自動的に節電モードに切り替わります。節電モードに切り替えられるまでの時間は Windows のプリンタツールから調節することができます（第 6 章を参照）。
節電モードの時にプリンタが新しいジョブを受信すると、自動的にウォームアップ状態に切り替わり、7 秒以内にプリント準備が完了します。

設定情報（コンフィギュレーション）ページの印刷

プリンタのセットアップが完了し電源を入れたら、プリンタが正しく作動することを確認するために設定情報ページを印刷します。

1 次のことを確認します。
- ❍ エラーランプ（オレンジ色）がオフになっている。
- ❍ オンラインランプ（緑色）がオンになっている。（点滅はしていない。）

2 パネルボタンを軽く押します。
- ❍ すべてのランプが高速で点滅します。

3 パネルボタンを更に 2 回押します。
- ❍ 設定情報（コンフィギュレーション）ページが印刷されます。

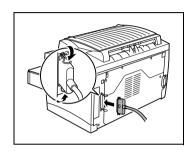
コンピュータへの接続

パラレルインターフェース（Windows XP/2000/Me/98/95/NT 4.0）

1 プリンタとコンピュータ両方の電源を切ります。

2 インターフェースケーブルの片端をコンピュータのパラレルポートに接続します。

3 インターフェースケーブルのもう一方の端をプリンタ裏側のパラレルインターフェースコネクターに接続します。クリップ 2 つでインターフェースケーブルを固定します。

4 プリンタの電源を入れて、準備が完了したらコンピュータの電源を入れます。

? *Windows の OS は新しいデバイスを検出しますか？*

→ Windows XP/Me/2000/98 をご使用の場合は、プラグアンドプレイでプリンタドライバのインストールが自動的に開始します。画面の指示に従ってください。詳しくは第 3 章を参照してください。

→ Windows XP/Me/2000/98 をご使用の場合でプラグアンドプレイでのインストールが自動的に開始しない場合は、プリンタの電源をオンにしたままインターフェースケーブルの両端を外してからケーブルを付け直してください。これでもインストールが開始しない場合は、第 3 章の指示に従ってマニュアルでプリンタドライバをインストールしてください。

→ Windows 95/NT 4.0 をご使用の場合は、第 3 章の指示に従ってマニュアルでプリンタドライバをインストールしてください。

パラレルケーブルの仕様については第 12 章を参照してください。

ご注意

間違ったタイプのケーブルを使用すると、プリンタのソケットが破損するおそれがあります。

IEEE 1284 タイプ B のシールド付きインターフェースケーブルのみを使用してください。

USB インターフェース（Windows XP/2000/Me/98）

ご注意
Windows 95/NT4.0 は USB 接続をサポートしていません。

1 コンピュータとプリンタの両方の電源を切ります。

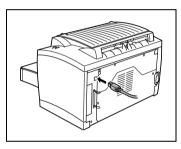
2 コンピュータの電源を入れます。

3 プリンタの電源を入れます。

4 Windows とプリンタの両方の準備が完了したら、インターフェースケーブルの片端をコンピュータの USB ポートに接続します。

5 インターフェースケーブルのもう片方の端をプリンタ裏側の USB インターフェースコネクタに接続します。

? *Windows の OS は新しいデバイスを検出しますか？*

➜ プラグアンドプレイでインストールが自動的に開始します。画面の指示に従ってください。詳しくは第 3 章を参照してください。

➜ プラグアンドプレイでインストールが自動的に開始しない場合は、プリンタの電源をオンにしたままインターフェースケーブルの両端を外してからケーブルを付け直してください。これでもインストールが開始しない場合は、第 3 章の指示に従ってマニュアルでプリンタドライバをインストールしてください。

ケーブルの仕様については第 12 章を参照してください。

ご注意
間違ったタイプのケーブルを使用すると、プリンタのソケットが破損するおそれがあります。
プリンタをコンピュータに接続する場合は、USB Revision 1.1 適合ケーブルのみを使用してください。

3 プリンタドライバのインストール

3.1 必要なシステム

Windows

- IBM 互換コンピュータ（Pentium 133 MHz 以上のプロセッサ）
- Microsoft Windows XP/Me/2000/98/95/NT 4.0
- 64 MB 以上の RAM
- 15 MB 以上の空きハードディスク容量
- IEEE 1284 Type B パラレルポートまたは USB ポート
- CD-ROM ドライブ

Macintosh

- Apple Macintosh コンピュータ（PowerPC 604 以上のプロセッサ）
- Mac OS 9/OS X
- 128 MB 以上の RAM
- 15 MB 以上の空きハードディスク容量
- USB ポート
- CD-ROM ドライブ

3.2 プリンタドライバのインストールに際しての注意

インストールは簡単です

インストールプログラムはコンピュータを使い慣れていない人でも簡単にプリンタドライバをインストールできるように作られています。プログラムによってインストールの各ステップ毎に導かれるので、プログラムに沿ってインストールができます。

インストールを開始する前に次の情報を確認してください。

- 使用しているコンピュータの OS（例：Windows XP）
- CD-ROM ドライブのドライブ名（例：D ドライブ）
- プリンタに取り付けられているオプション付属品（例：給紙ユニット）
- プリンタはパラレルケーブルまたはUSBケーブルでコンピュータに接続されてますか？

プリンタドライバに関する一般情報

プリンタドライバは、プリンタに付属の CD-ROM にて提供されます。

CD-ROM ドライブがない場合
プリンタドライバをインターネットからダウンロードすることができます。最新版のプリンタドライバは http://www.minolta-qms.com からダウンロードできます（「Online Help & Drivers」を選択してください。）

「プリンタの追加」を使ったインストールについて（Windows の場合）

「スタート > 設定 > プリンタ > プリンタの追加」を使ってプリンタドライバインストールする場合、次の点に留意してください。

- インストールオプションのダイアログボックスは表示されません。プリンタドライバのインストール終了後、追加オプションを設定してください。
- ステータスモニタはインストールされません。
- アンインストール用ユーティリティはインストールされません。

PostScript プリンタドライバのインストール
PostScript プリンタドライバを Windows へインストールする場合は、プリンタの追加ウィザードを使ってインストールしてください。

3.3 USB デバイスドライバのインストール (Windows の場合)

USB ケーブルを使ってプリンタをコンピュータに接続する場合、プリンタドライバをインストールする前に次の手順にしたがって USB デバイスドライバをインストールしてください。

Windows 95/NT 4.0 は USB 接続をサポートしていません。

Windows 98 に USB デバイスドライバをインストールする

1 コンピュータの電源を入れます。

2 プリンタの電源を入れます。

3 Windows とプリンタの両方の準備が完了したら、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

? *インストールプログラムが自動的に開始した場合どうしたらいいですか?*

➜ 右上の角にある X をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

4 USB ケーブルでプリンタとコンピュータを接続して(第 2 章を参照)「新しいハードウェアの追加」ダイアログボックスを表示させます。

5 [次へ] を選択し、次のダイアログボックスへ進みます。

6 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のオプションボタンをチェックし、[次へ] を選択します。

7 次のダイアログボックスが表示されたら「検索場所の指定」ボックスをチェックし、[参照] を選択します。

8 CD-ROM を参照して「drivers\winMe,9x\usb」へ進み、[OK] を選択します。

9 画面の指示にしたがいインストールを行います。

10 [終了] を選択してインストールを終了します。

これで PagePro 1250E プリンタの USB デバイスドライバのインストールは終了です。

11 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されたら、ステップ2の「Windows 98でプラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする」(3-11ページ)を続けます。

USBデバイスドライバWindows Meにインストールする

1 コンピュータの電源を入れます。

2 プリンタの電源を入れます。

3 Windowsとプリンタの両方の準備が完了したら、プリンタについてきたCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。

? *インストールプログラムが自動的に開始したらどうしたらいいですか?*

→ 右上の角にあるXをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

4 USBケーブルでプリンタとコンピュータを接続して(第2章を参照)「新しいハードウェアの追加」ダイアログボックスを表示させます。

5 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」をチェックして、[次へ]を選択します。

6 「使用中のデバイスに最適なドライバの検索(推奨)」のオプションボタンをチェックし、「検索場所の指定」ボックスをチェックして[参照]を選択します。

7 CD-ROMを参照して「drivers\winMe,9x\usb」へ進み、[OK]を選択します。

8 画面の指示にしたがいインストールを行います。

9 [終了]を選択してインストールを終了します。

これでPagePro 1250EプリンタのUSBデバイスドライバのインストールは終了です。

10 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されたら、ステップ2の「プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをWindows Meにインストールする」(3-12ページ)を続けます。

USB デバイスドライバを Windows 2000 にインストールする

USB ケーブルを使ってプリンタがコンピュータに接続されている場合、OS によっては USB 印刷サポートが自動的に組みこまれていることがあります。PagePro 1250E のすべての機能を有効にするには、PagePro 1250E の USB デバイスドライバをインストールしなければならない場合があります。

PagePro 1250E の USB デバイスドライバを次の手順でインストールしてください。

1 コンピュータの電源を入れます。

2 プリンタの電源を入れます。

3 Windows とプリンタの両方の準備が完了したら、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

? *インストールプログラムが自動的に開始したらどうしたらいいですか？*

➜ 右上の角にある X をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

4 USB ケーブルでプリンタとコンピュータを接続して（第 2 章を参照）「新しいハードウェアの検出」ダイアログボックスを表示させます。

5 ［キャンセル］を選び「新しいハードウェアの検出」ダイアログボックスを閉じます。

6 デスクトップ上の「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックし、表示されたショートカットメニューの中から「プロパティ」を選択します。システムのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

7 システムプロパティのダイアログボックスの「ハードウェア」のタブを選択し、［デバイスマネージャ］ボタンを選択します。

8 「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下にある「USB 印刷サポート」をダブルクリックします。USB 印刷サポートのダイアログボックスが表示されます。

9 USB 印刷サポートのダイアログボックスで「ドライバ」タブを選び、［ドライバの更新］を選択します。

10 ［次へ］を選び、次のダイアログボックスへ進みます。

11 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」のオプションボタンをチェックし、［次へ］を選択します。

12 次のダイアログボックスが表示されたら「場所を指定」ボックスをクリックして、[次へ] を選択します。

13 [参照] を選択します。

14 CD-ROM を参照して「drivers\winMe,9x\usb」へ進み、[開く] を選択します。

15 [OK] を選び、[次へ] を選びます。

16 画面の指示にしたがいインストールを行います。

17 [終了] を選択して、USB デバイスドライバのインストールを終了します。

18 [はい] を選び、コンピュータを再起動させます。

19 「プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする」(3-15 ページ)のステップ 4 から続けてください。

USB デバイスドライバを Windows XP にインストールする

USB ケーブルを使ってプリンタがコンピュータに接続されている場合、OS によっては USB 印刷サポートが自動的に組みこまれていることがあります。PagePro 1250E のすべての機能を有効にするには、PagePro 1250E の USB デバイスドライバをインストールしなければならない場合があります。

PagePro 1250E の USB デバイスドライバを次の手順でインストールしてください。

1 コンピュータの電源を入れます。

2 プリンタの電源を入れます。

3 Windows とプリンタの両方の準備が完了したら、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

? *インストールプログラムが自動的に開始したらどうしたらいいですか?*

→ 右上の角にある X をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

4 USB ケーブルでプリンタとコンピュータを接続して(第 2 章を参照)を表示させます。

5 [キャンセル] を選び、「新しいハードウェアの検出」ダイアログボックスを閉じます。

6 ［スタート］から「マイ コンピュータ」を選択します。

7 「システムタスク」の一覧で「システム情報を表示する」を選択します。

8 システムのプロパティダイアログボックスの「ハードウェア」タブを選択し、［デバイス マネージャ］ボタンを選択します。

9 「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下にある「USB 印刷サポート」をダブルクリックします。USB 印刷サポートのダイアログボックスが表示されます。

10 USB 印刷サポートのダイアログボックスで「ドライバ」タブを選び、［ドライバの更新］を選択します。

11 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」オプションボタンを選び、［次へ］を選択します。

12 下図のダイアログボックスが表示されたら「検索を行わずにインストールするドライバを指定する」ボックスをチェックし、［次へ］を選択します。

13 ［ディスク使用］を選択します。

14 ［参照］を選択します。

15 CD-ROM を参照して「Win98USB」へ進み、［開く］を選択します。

16 ［OK］を選び、［次へ］を選びます。

17 画面の指示にしたがいインストールを行います。

18 ［終了］を選択して、USB デバイスドライバのインストールを終了します。

これで、PagePro 1250E 用の USB デバイスドライバのインストールは完了です。

19 「新しいハードウェアの検出」ダイアログボックスが表示されたら、「Windows XP へのプリンタドライバのインストール」（3-18 ページ）を続けます。

3.4 インストーラ（自動再生）を使ってプリンタドライバをインストールする

プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入すると自動的に開始します。インストール手順のステップごとに導きます。

1 コンピュータの電源を入れます。

2 Windows が起動したら、CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に開始します

? *インストールプログラムが自動的に開始しない場合はどうしたらいいですか？*

➜ Windows のエクスプローラで直接 CD-ROM を参照し、「setup.exe」を選択してインストールプログラムを開始します。

3 インストールプログラムの指示にしたがってインストールを行います。

❍ ダイアログボックスでプリンタツールのインストールを選択できる場合で、ステータスモニタとプリンタコントロールパネルをインストールする場合は、「プリンタツール」ボックスを選択します。[OK] を選択して次のステップを表示させます。

❍ プリンタドライバのインストールが成功すると、「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタのアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されます。

❍ プリンタツールがインストールされたら、コンピュータを再起動します。

3.5 Windows 95 にプリンタドライバをインストールする

プリンタドライバのインストール方法として、当社では自動再生インストーラの使用を推奨しています。(「インストーラ（自動再生）を使ってプリンタドライバをインストールする」(3-8 ページ）を参照)

ただし、インストーラを使用せずにプリンタドライバをインストールする方法もあります。ここでは、PagePro 1250E プリンタドライバを Windows 95 にインストールする場合ついて説明しています。

PostScript プリンタドライバのインストール
PostScript プリンタドライバを Windows95 にインストールする場合は「プリンタの追加」ウィザードを使ってインストールしてください。

プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする

1 パラレルケーブルでプリンタをコンピュータに接続した後、プリンタの電源を入れます。

2 コンピュータの電源を入れます。
Windows が起動した後、デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。

3 プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れて［次へ］を選択します。

4 ［場所の指定］を選び、［参照］を選択します。

5 CD-ROM を参照して「drivers\winMe,9x\pcl6\japanese」へ進み、[OK]を選択します。

6 画面の指示にしたがいインストールを行います。

7 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。プリンタダイアログボックスを表示するには［スタート］から［設定］を選び、［プリンタ］を選択します。

8 コンピュータの CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出します。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

「プリンタの追加」ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする

1 コンピュータの電源を入れます。

2 Windows が起動した後、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

3 ［スタート］から［設定］を選び、［プリンタ］を選択します。

4 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

5 ［次へ］を選択します。

6 「ローカルプリンタ」を選択します。

7 ［次へ］を選択します。

8 ［ディスク使用］を選び、［参照］を選択します。

9 CD-ROM を参照して「drivers\winMe,9x\pcl6\japanese」(PCL プリンタドライバの場合）または「drivers\winMe,9x\ps\english」(PostScript プリンタドライバの場合）へ進み、[OK］を選択します。

10 [OK］を選択し、［次へ］を選択します。

11 画面の指示にしたがいインストールを行います。

12 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。

13 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

3.6 Windows 98/Me へのプリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストール方法として、当社では自動再生インストーラの使用を推奨しています。(「インストーラ（自動再生）を使ってプリンタドライバをインストールする」(3-8 ページ）を参照)

ただし、インストーラを使用せずにプリンタドライバをインストールする方法もあります。ここでは、PagePro 1250E プリンタドライバを Windows 98 または Windows Me にインストールする場合について説明しています。

PostScript プリンタドライバのインストール
PostScript プリンタドライバを Windows にインストールする場合は「プリンタの追加」ウィザードを使ってインストールしてください。

Windows 98 でプラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする

次の部分ではパラレル接続を使ったプラグアンドプレイについての情報が記されています。USB 接続を使ったインストールの詳細については、「Windows 98 に USB デバイスドライバをインストールする」(3-3 ページ）を参照してください。

1 パラレルケーブルでプリンタをコンピュータに接続した後、プリンタの電源を入れます。

2 コンピュータの電源を入れます。
Windows が起動した後、新しいハードウェアの追加ウィザードのダイアログボックスが表示されます。

3 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、[次へ]を選択します。

4 「全てのドライバを表示する」ボタンを選び、[次へ] を選択します。

5 「プリンタ」をチェックして [次へ] を選択します。

6 [ディスク使用] を選び、[参照] を選択します。

7 CD-ROM を参照して「drivers\winMe,9x\pcl6\japanese」へ進み、[OK] を選択します。

8 [OK] を選び、[次へ] を選択します。

9 画面の指示にしたがいインストールを行います。

10「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。プリンタダイアログボックスを表示するには、[スタート] から [設定] を選び、[プリンタ] を選択します。

11 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。
これでプリンタドライバのインストールは完了です。

プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバを Windows Me にインストールする

次の部分ではパラレル接続を使ったプラグアンドプレイについての情報が記されています。USB 接続を使ったインストールの詳細については、「USB デバイスドライバ Windows Me にインストールする」(3-4 ページ)を参照してください。

1 パラレルケーブルでプリンタをコンピュータに接続した後、プリンタの電源を入れます。

2 コンピュータの電源を入れます。
Windows が起動した後、新しいハードウェアの追加ウィザードのダイアログボックスが表示されます。

3 プリンタに付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)」ボタンを選択し [次へ] を選択します。

4 好きなドライバが選択できるように「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」オプションボタンを選択し、[次へ] を選択します。

5 「プリンタ」をチェックして [次へ] を選択します。

6 [ディスク使用] を選び、[参照] を選択します。

7 CD-ROM を参照して「drivers\winMe,9x\pcl6\japanese」へ進み [OK] を選択します。

8 [OK] を選び、[次へ] を選択します。

9 画面の指示にしたがいインストールを行います。

10「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。プリンタダイアログボックスを表示するには、[スタート] から [設定] を選び、[プリンタ] を選択します。

11 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

プリンタの追加ウィザードを使って Windows Me/98 にプリンタドライバをインストールする

1 コンピュータの電源を入れます。

2 Windows が起動した後、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

3 [スタート] を選び、[設定] を選び、[プリンタ] を選択します。

4 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

5 [次へ] を選択します。

6 「ローカルプリンタ」を選択します。

7 [次へ] を選択します。

8 [ディスク使用] を選んで、[参照] を選択します。

9 CD-ROM を参照して「drivers\winMe,9x\pcl6\japanese」(PCL プリンタドライバの場合)または「drivers\winMe,9x\ps\english」(PostScript プリンタドライバの場合)へと進み [OK] を選択します。

10 [OK] を選び、[次へ] を選択します。

11 適切なポートを指定します。
パラレル接続を使用している場合は、「LPT*x*:」を選択します。(*x*=1、2 など)
USB 接続を使用している場合は、「USB001」を選択します。
[OK] を選択します。

12 画面の指示にしたがいインストールを行います。

13「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。

14 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

3.7 Windows NT 4.0 にプリンタドライバをインストールする

プリンタドライバのインストール方法として、当社では自動再生インストーラの使用を推奨しています。（「インストーラ（自動再生）を使ってプリンタドライバをインストールする」（3-8 ページ）参照）

ただし、インストーラを使用せずにプリンタドライバをインストールする方法もあります。ここでは PagePro 1250E プリンタドライバを Windows NT 4.0 にインストールする場合について説明しています。

プリンタドライバをプリンタの追加ウィザードを使ってインストールする

1 コンピュータの電源を入れます。

2 Windows が起動した後、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

3 ［スタート］を選び、［設定］を選び、［プリンタ］を選択します。

4 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

5 「このコンピュータ」を選択します。

6 ［次へ］を選択します。

7 使いたいポートを指定して［次へ］を選択します。

8 ［ディスク使用］を選び、［参照］を選択します。

9 CD-ROM を参照して「drivers\winnt\pcl6\japanese」（PCL プリンタドライバの場合）または「drivers\winnt\ps\english」（PostScript プリンタドライバの場合）へ進み、［開く］を選択します。

10 ［OK］を選び、［次へ］を選択します。

11 画面の指示にしたがいインストールを行います。

12 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。

13 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。
これでプリンタドライバのインストールは完了です。

3.8 Windows 2000 にプリンタドライバをインストールする

プリンタドライバのインストール方法として、当社では自動再生インストーラの使用を推奨しています。(「インストーラ(自動再生)を使ってプリンタドライバをインストールする」(3-8 ページ) を参照)

ただし、インストーラを使用せずにプリンタドライバをインストールする方法もあります。ここでは PagePro 1250E プリンタドライバを Windows 2000 にインストールする場合について説明しています。

PostScript プリンタドライバのインストール
PostScript プリンタドライバを Windows へインストールする場合は、プリンタの追加ウィザードを使ってインストールしてください。

プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする

パラレル接続の場合 :

1 プリンタをコンピュータに接続した後、プリンタの電源を入れます。

2 コンピュータの電源を入れます。
Windows が起動した後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

❍ 次ページのステップ 5 へ続きます。

USB 接続の場合 :

1 コンピュータの電源を入れます。

2 プリンタの電源を入れます。

3 Windows とプリンタ両方の準備が完了したら、USB ケーブルでのプリンタをコンピュータへ接続して(詳細は第 2 章を参照)「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログボックスを表示させます。

4 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、[次へ] を選択します。

5 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」オプションボタンをチェックし、[次へ] を選択します。

6 「プリンタ」を選び、[次へ] を選択します。

7 [ディスク使用] を選び、[参照] を選択します。

8 CD-ROM を参照して「drivers\win2k\pcl6x\japanese」へ進み、[開く] を選択します。

9 [OK] を選び、[次へ] を選択します。

10 画面の指示にしたがいインストールを行います。

11 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。プリンタダイアログボックスを表示するには、[スタート] から [設定] を選び、[プリンタ] を選択します。

12 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

ご注意

USB 接続の場合 PagePro 1250E 用の USB デバイスドライバをインストールする必要があります。CD-ROM を CD-ROM ドライブの中に残して USB デバイスドライバをインストールしてください。「USB デバイスドライバを Windows 2000 にインストールする」(3-5 ページ)を参照。

プリンタドライバをプリンタの追加ウィザードを使ってインストールする

1 コンピュータの電源を入れます。

2 Windows が起動した後、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

3 [スタート] から [設定] を選び、[プリンタ] を選択します。

4 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

5 [次へ] を選択します。

6 「ローカルプリンタ」を選択します。

- 「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」ボックスのチェックは外します。

7 [次へ] を選択します。

8 「次のポートを使用」ボタンを選択し、使いたいポートを指定して［次へ］を選択します。
パラレル接続を使用している場合は、「LPT*x*:」（*x*=1，2 等）を選択します。
USB 接続を使用している場合は、「USB001」を選択します。

9 ［ディスク使用］を選び、［参照］を選択します。

10 CD-ROM を参照して「drivers\win2k\pcl6\japanese」（PCL プリンタドライバの場合）または「drivers\win2k\ps\english」（PostScript プリンタドライバの場合）へ進み、［開く］を選択します。

11 ［OK］を選び、［次へ］を選択します。

12 画面の指示にしたがいインストールを行います。

13 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンがプリンタダイアログボックスに表示されていることを確認します。

14 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。
これでプリンタドライバのインストールは完了です。

3.9 Windows XP へのプリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストール方法として、当社では自動再生インストーラの使用を推奨しています。(「インストーラ(自動再生)を使ってプリンタドライバをインストールする」(3-8 ページ)を参照)

ただし、インストーラを使用せずにプリンタドライバをインストールする方法もあります。ここでは、PagePro 1250E プリンタドライバを Windows XP にインストールする場合について説明しています。

PostScript プリンタドライバのインストール
PostScript プリンタドライバを Windows にインストールする場合は「プリンタの追加」ウィザードを使ってインストールしてください。

プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする

パラレル接続の場合:

1 プリンタをコンピュータに接続した後、プリンタの電源を入れます。

2 コンピュータの電源を入れます。

Windows が起動した後、新しいハードウェアの検出ダイアログボックスが表示されます。
❍ 次ページのステップ 5 へ続きます。

USB 接続の場合:

1 コンピュータの電源を入れます。

2 プリンタの電源を入れます。

3 Windows とプリンタ両方の準備が完了したら、USB ケーブルでのプリンタをコンピュータへ接続して(詳細は第 2 章を参照)「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログボックスを表示させます。

4 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、[次へ] を選択します。

5 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」オプションボタンをチェックし、[次へ] を選択します。

6 「検索を行わずにインストールするドライバを指定する」ボックスをチェックし、[次へ] を選択します。

7 共通のハードウェアタイプ一覧から「プリンタ」を選び、[次へ] を選択します。

8 ［ディスク使用］を選び、［参照］を選択します。

9 CD-ROM を参照して「drivers\win2kx\PCL6x\japanese」へ進み、［開く］を選択します。

10 ［OK］を選び、［次へ］を選択します。

11 画面の指示にしたがいインストールを行います。

ご注意

USB 接続の場合 PagePro 1250E 用の USB デバイスドライバをインストールする必要があります。CD-ROM を CD-ROM ドライブの中に残して USB デバイスドライバをインストールしてください。「USB デバイスドライバを Windows XP にインストールする」（3-6 ページ）を参照。

プリンタドライバをプリンタの追加ウィザードを使ってインストールする

1 コンピュータの電源を入れます。

2 Windows が起動した後、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

3 ［スタート］から［コントロールパネル］を選択します。

4 「プリンタとその他のハードウェア」を選択します。

5 「タスクの選択」で［プリンタの追加］を選択します。

6 ［次へ］を選択します。

7 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択します。

- 「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」ボックスのチェックは外します。

8 ［次へ］を選択します。

9 「次のポートを使用」ボタンを選択し、使いたいポートを指定して［次へ］を選択します。

パラレル接続を使用している場合は、「LPTx:」（x=1, 2 等）を選択します。

USB 接続を使用している場合は、「USB001」を選択します。

10 [ディスク使用] を選び、[参照] を選択します。

11 CD-ROM を参照して「drivers\win2k\pcl6\japanese」(PCL プリンタドライバの場合)または「drivers\win2k\ps\english」(PostScript プリンタドライバの場合)へ進み、[開く] を選択します。

12 [OK] を選び、[次へ] を選択します。

13 画面の指示にしたがいインストールを行います。

14 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出します。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

3.10 PostScript プリンタドライバの Mac OS へのインストール

ご注意
Mac OS X またはそれ以降のバージョンを使用している場合は、次の手順の前に「クラッシック環境」へ切り替えてください。

PostScript プリンタドライバの Mac OS へのインストール

次の手順で PostScript プリンタドライバを Mac OS へのインストールしてください。

1 USB ケーブルでプリンタを Macintosh に接続した後、プリンタの電源を入れます。

2 Macintosh の電源を入れます。

3 Macintosh の準備が完了したら、プリンタに付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

4 「MINOLTA-QMS」アイコンをダブルクリックして、インストレーションプログラムを開始します。

5 「インストール」アイコンをダブルクリックします。

6 画面の指示にしたがいインストールを行います。

7 プリンタドライバのインストールが終了したら、次のセクションに進んで USB プリンタの設定を指定します。

USB プリンタ設定を指定する

USB 接続で印刷するために、次の手順を踏んで USB プリンタ設定を指定します。

ご注意

✔ PagePro 1250E での印刷にこの USB ソフトウェアを使う場合は、Apple Laser Writer 8.3 以降がインストールされている必要があります。まず Macintosh にインストールされている Laser Writer のバージョンを確認してください。

1 デスクトップ上にあるMacintoshのハードディスクのアイコンを開きます。

2 「Apple エクストラ」フォルダを開きます。

Macintosh の OS が Mac OS 9.1 以降のものの場合は、アプリケーションフォルダを開きます。

3 「Apple LaserWriter ソフトウェア」フォルダを開きます。

Macintosh の OS が Mac OS 9.1 以降のものの場合は、ユーティリティーズフォルダを開きます。

4 「デスクトップ・プリンタ Utility」をダブルクリックします。

5 「デスクトップに作成」リストから「プリンタ（USB）」を選び、[OK] を選択します。

6 「PostScript プリンタの内容（PPD）ファイル」セクションから［変更 ...］を選び、特定のドライバを選択します。

7 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」を選び、[選択] を選択します。

8 「USB プリンタ選択」のセクションから［変更 ...］を選択します。

9 「PagePro 1250E」を選んで、[OK] を選択します。

10 [作成 ...］を選択します。

11 プリンタの名前と場所を選び［保存］を選択します。

これでプリンタドライバのインストールと USB プリンタ設定の指定は完了です。

3.11 PCL プリンタドライバと USB デバイスドライバのアンインストール

ここでは、PagePro 1250E プリンタドライバをアンインストールする必要が生じた時のために、アンインストールの方法について説明しています。

ご注意
アンインストールプログラムを使ってプリンタドライバを削除する場合は、USB デバイスドライバも削除されます。

ご注意
プリンタの追加でプリンタドライバをインストールした場合、アンインストールユーティリティはありません。プリンタドライバを削除する場合は、「プリンタ」フォルダで選択して削除してください。

ご注意
このセクションに出てくる画面は、Windows 98 でアンインストールをする場合の例を示しています。従って、お客様がご使用になっている画面とは微妙に異なる場合があります。

PCL プリンタドライバのアンインストール（Windows Me/98/95/2000）

1 ［スタート］ボタンから［設定］を選び、［コントロールパネル］を選択します。

2 コントロールパネルダイアログボックスの「プログラムの追加／削除」をダブルクリックし、「プログラムの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスを開きます。

3 Windows Me/98/95/NT 4.0 の場合、「MINOLTA-QMS PagePro 1250E Printer」を選び、［追加／削除］を選んでプリンタドライバをアンインストールします。

Windows 2000 の場合、「MINOLTA-QMS PagePro 1250E Printer」を選び［変更 / 削除］を選んでプリンタドライバをアンインストールします。

4 ［アンインストール］を選択して、アンインストールを開始するか［キャンセル］を選んで中止します。

5 PagePro 1250E プリンタドライバを削除した後、[OK] を選択します。

6 [はい] を選んで、ウィンドウを閉じます。

ご注意
アンインストール後にコンピュータを再起動することを推奨します。

プリンタドライバのアンインストール（Windows XP）

1 [スタート] ボタンから [設定] を選び、[コントロールパネル] を選択します。

2 「プログラムの追加と削除」を選び、プログラムの追加と削除ダイアログボックスを表示させます。

3 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」を選び、[変更と削除] を選択して、プリンタドライバをアンインストールします。

4 アンインストールダイアログボックスで「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」を選択します。

5 アンインストールする場合は [アンインストール] を選び、中止する場合は [キャンセル] を選択します。

6 下図のダイアログボックスが表示されたら、[はい] を選び、コンピュータを再起動します。

ご注意
アンインストール後にコンピュータを再起動することを推奨します。

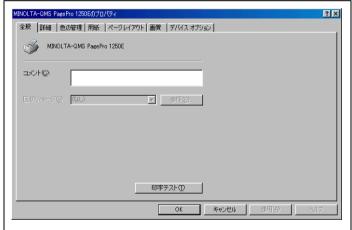
4 Windows PCL プリンタドライバの使いかた

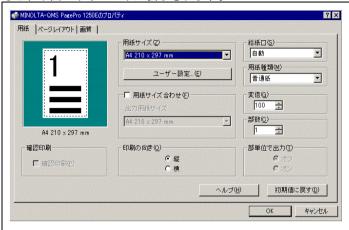
4.1 プリンタドライバ設定画面を表示する (Windows Me/98/95/2000/NT 4.0)

1 [スタート] メニューから [設定] を選択し、次に [プリンタ] を選択してプリンタウィンドウを表示させせます。

2 MINOLTA-QMS PagePro 1250E プリンタのアイコンを選択します。

3 プリンタドライバ設定の表示：

- **Windows Me/98/95** ー「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択すると、下図のウィンドウが表示されます。

OS 標準のタブがあります。
「全般」と「詳細」タブは OS によって自動的に決められているので、本マニュアルでは説明してありません。

- **Windows 2000** ー「ファイル」メニューから「印刷設定」を選択すると、下図のウィンドウが表示されます。

- **Windows NT 4.0** ー「ファイル」メニューから「ドキュメントの既定値」を選択すると、上記の Windows 2000 の画面のようなウィンドウが表示されます。

4.2 プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows XP）

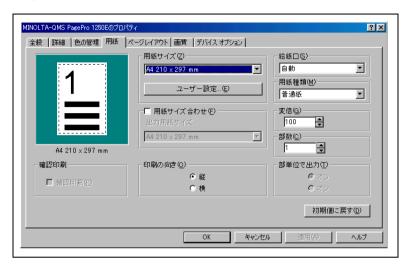
1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。

2 「プリンタとその他のハードウェア」を選択します。

3 「インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する」を選択します。

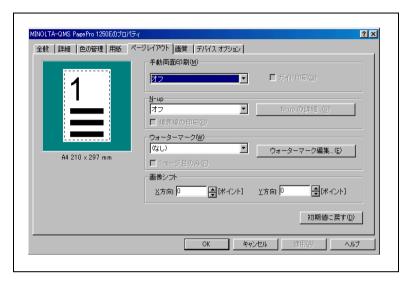
4 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンを選択します。

5 プリンタドライバの設定を表示する場合は、「ファイル」メニューから「印刷のプリファレンス」を選択します。

4.3 用紙タブ

用紙タブでは次のことができます。

- 用紙サイズを選択する
- カスタムの用紙サイズを定義する
- 印刷文書を特定の用紙サイズに合わせる
- 用紙の向きを指定する
- 複数のトレイの中から給紙トレイを指定する
- 用紙の種類を定義する
- 文書の倍率（拡大／縮小）を設定する
- 部数を指定する
- 印刷ソート機能のオン／オフを設定する
- 校正刷りのオン／オフを設定する

これらすべての機能の情報については、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

4.4 ページレイアウトタブ

ページレイアウトタブでは次のことができます。

- 両面印刷を指定する（手差しトレイからの両面印刷はできません）
- 文書中の複数のページを同じページに印刷する（N-up 印刷）
- 印刷文書にウォーターマークを付ける
- カスタムのウォーターマークをデザインする
- 印刷可能領域の位置を調整する

これらすべての機能の情報については、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

4.5 品質タブ

品質タブでは次のことができます。

- トナー節約モードをオン / オフにする
- テキストおよび画像の印刷の質を最適化する（ファインアート）
- トナー濃度を調整する
- テキストおよび画像データをビットマップデータとしてプリンタに送信する
- 解像度を指定する
- プリンタの TrueType フォントの使用を有効／無効にする
- 画像補正機能をオン / オフにする

これらすべての機能の情報については、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

4.6 デバイスオプションタブ

デバイスオプションタブでは次のことができます。

- オプションの給紙ユニット（トレイ 2）を有効にする
- プリンタにインストールされるメモリーの合計を設定する

これらすべての機能の情報については、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

Windows 2000/NT 4.0 のみ！

Windows 2000/NT 4.0 のデバイスオプションタブは別のメニューに入っているので、別々に呼び出す必要があります。

1 ［スタート］メニューから［設定］を選択し、次に［プリンタ］を選択してプリンタのダイアログを表示させます。

2 プリンタのダイアログの中で MINOLTA-QMS PagePro 1250E プリンタのアイコンを選択します。

3 「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択し、プロパティのダイアログボックスを表示させます。

4 デバイスオプションタブを選択します。

5 Windows PostScript プリンタドライバの使いかた

5.1 プリンタドライバの設定の表示（Windows Me/98/95/2000/NT 4.0）

1 ［スタート］メニューから［設定］を選び、［プリンタ］を選択してプリンタウィンドウを表示させます。

2 プリンタウィンドウで、MINOLTA-QMS PagePro 1250E PS プリンタのアイコンを選択します。

3 プリンタドライバの設定を表示させます。

- **Windows Me/98/95** ―「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択すると、プロパティウィンドウが表示されます。
- **Windows 2000** ―「ファイル」メニューから「印刷設定」を選択すると、印刷設定ウィンドウが表示されます。
- **Windows NT 4.0** ―「ファイル」メニューから「ドキュメントの既定値」を選択すると、既定のドキュメントのプロパティウィンドウが表示されます。

5.2 プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows XP）

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。

2 「プリンタとその他のハードウェア」を選択します。

3 「インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する」を選択します。

4 「MINOLTA-QMS PagePro 1250E」プリンタアイコンを選択します。

5 プリンタドライバの設定を表示する場合は、「ファイル」メニューから「印刷のプリファレンス」を選択します。

5.3 用紙タブ(Windows Me/98/95)

用紙タブを使って次のことができます。

- 用紙サイズを指定する(サポートしている用紙については第 12 章を参照してください。)
- カスタムの用紙サイズを定義する
  - ○ 最低サイズ: 76 × 127mm 3.0 × 5.0 インチ
  - ○ 最高サイズ: 216 × 356mm 8.5 × 14.0 インチ
- 文書中の複数のページを同じページに印刷する(N-up 印刷)
- 用紙の向きを指定する
- 給紙カセットを指定する
  - ➜ 用紙を手差しでセットする場合は、用紙を手差しトレイにのせパネルボタンを押してください。
- 部数を指定する

これらのすべての機能に関して詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

5.4 デバイスオプションタブ(Windows Me/98/95)

使用可能なプリンタメモリ

ここではプリンタにインストールされているメモリの容量(KB)を指定します。

プリンタの機能

このリストボックスの項目は、プリンタの一般的な機能を特定の文書用に微調整するためのものです。

- ソートー複数の部数を印刷する場合のソートをプリンタで行う(オン)かアプリケーションで行うか(オフ)をコントロールします。
- ファインアートードット数を少なめ(明るい)または多め(暗い)にすることで、文字や斜め線のギザギザのエッジを滑らかにし、ギザギザが目立たないように補正します。
- ページのサイズに合わせるー印刷される文書を特定の用紙サイズに合わせます。
- 画像シフトー実際の用紙上の縦(X)横(Y)の印刷可能領域の調節を行います(この機能は X 画像シフトや Y 画像シフトと一緒に使います。)
- 用紙の種類ー印刷に使う用紙の種類を指定します。
- マルチビットーマルチビット印刷をコントロールします。
- ウォターマークの印刷ーウォターマークを文書の全ページに印刷するのか、最初のページのみに印刷するのかを指定します。

- 校正刷りー複数部数の印刷ジョブにおいて、印刷の質が確認できるように最初のページのみを印刷します。
- トナー濃度ー使用するトナーの濃度を調整します。
- トナーセーブー下書き原稿やサンプル文書を印刷する場合にトナーを節約します。
- ウォーターマークー印刷するウォーターマークのテキストを指定します。
- ウォーターマークの角度ーページ上のウォーターマークの角度を指定します。
- ウォーターマークのフォントーウォーターマークを印刷する時に使用するフォントを指定します。
- ウォーターマークのサイズーウォーターマークのサイズを（ポイント数で）指定します。
- X画像シフトー実際のページ上の印刷可能領域を水平方向に移動させる量を（ポイント数で）指定します。
- Y画像シフトー実際のページ上の印刷可能領域を垂直方向に移動させる量を（ポイント数で）指定します。

機能を修正する場合は、項目を選んでから設定の変更リストボックスの中から対応する設定を選択します。

インストール可能なオプション

このリストボックスにはプリンタにインストールすることができるオプションが表示されています。

オプションの設定を変更する場合は、オプションを選んでから設定の変更リストボックスの中から対応する設定を選択します。

- VM オプションーここではプリンタにインストールされるメモリの容量を指定します。

5.5 ページセットアップタブ（Windows NT 4.0）

ページセットアップタブでは次のことができます。

- 用紙サイズを指定する
- 給紙カセットを指定する
  - ➜ 用紙を手差しでセットする場合は、用紙を手差しトレイにのせパネルボタンを押してください。
- 印刷部数を指定する
- 用紙の向きを指定する

ページセットアップに関して詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

5.6 詳細タブ（Windows NT 4.0）

詳細タブでは、プリンタドライバの多くの高度な処理をコントロールし、微調整することができます。これらの機能は３つの主な柱を持つツリー形式で整理されています。

- 用紙 / 出力
- グラフィックス
- ドキュメントのオプション

機能の設定を変更する場合は、上側のウィンドウで機能を選んでから下側のウィンドウで対応する設定を選択します。

高度な処理タブに関して詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

5.7 デバイスの設定タブ（Windows NT 4.0）

Windows NT 4.0 のデバイスの設定タブは、異なったメニューに組みこまれており別々に呼び出す必要があります。

1 ［スタート］メニューから［設定］を選び、［プリンタ］を選択してプリンタウィンドウを表示させます。

2 プリンタウィンドウで、MINOLTA-QMS PagePro 1250E PS プリンタのアイコンを選択します。

3 「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択すると、プロパティウィンドウが表示されます。

4 デバイスの設定タブを選択します。

デバイスの設定タブは 2 つのウィンドウによって構成されており、これによってプリンタにインストールされたオプションを指定したり、管理することができます。上側のウィンドウには機能と現在の設定が表示されます。下側のウィンドウの内容は、上側のウィンドウで選択された項目によって異なります。

機能の設定を変更する場合は、上側のウィンドウで機能を選んでから下側のウィンドウで対応する設定を選択します。

デバイスの設定タブに関して詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

5.8 レイアウトタブ（Windows 2000/XP）

レイアウトタブでは次のことができます。

- 用紙の向きを指定する
- 文書中のページを印刷する順番を指定する
- 文書中の複数のページを同じ用紙に印刷する

5.9 用紙 / 品質タブ（Windows 2000/XP）

用紙 / 品質タブでは次のことができます。

- 給紙カセットを指定する
  - ➜ 用紙を手差しでセットする場合は、用紙を手差しトレイにのせパネルボタンを押してください。

詳細設定オプション（Windows 2000）

レイアウトタブまたは用紙 / 品質タブのいずれかの詳細設定ボタンを選んで、詳細オプションのウィンドウを開きます。

このウィンドウの設定によりプリンタドライバの多くの高度な機能をコントロールし、微調整することができます。これらの機能は、用紙 / 出力、グラフィックス、ドキュメントのオプションという主な 3 つの柱を持つツリー形式で整理されています。

詳細設定に関して詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

5.10 デバイスの設定タブ（Windows 2000/XP）

Windows 2000 デバイスの設定タブは、異なったメニューに組みこまれており別々に呼び出す必要があります。

1 [スタート] メニューから [設定] を選び、[プリンタ] を選択してプリンタウィンドウを表示させます。

2 プリンタウィンドウで、MINOLTA-QMS PagePro 1250E PS プリンタのアイコンを選択します。

3 「ファイル」メニューから「プロパティ」を選ぶとプロパティウィンドウが表示されます。

4 デバイスの設定タブを選択します。

   デバイスの設定ダイアログボックスが表示されます。

デバイスの設定タブでは、プリンタの設定やオプションを表示したり変更したりすることができます。設定を変更する場合は、変更したい項目を選んでからボックスまたは表示されたドロップダウンリストから希望の設定を選択します。

デバイスの設定タブに関して詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

6 Windows プリンタツールの使いかた

Windows のプリンタツールには次のものが含まれています。

- ステータスモニタ
- プリンタコントロールパネル

ステータスモニタの自動スタートアップ！
プリンタドライバをインストールする際に、ステータスモニタを自動的に開始するオプションを有効にしてある場合、コンピュータを起動した時にステータスモニタも自動的に開始します。

6.1 環境

ステータスモニタおよびプリンタコントロールパネルは、次の OS やインターフェースで使用することができます。

	IEEE 1284 パラレル	USB
Windows XP	○	○
Windows Me	○	○
Windows 2000	○	○
Windows 98	○	○
Windows 98 SE	○	○
Windows 95	○	—
Windows NT 4.0	○	—

6.2 ステータスモニタを開く

ステータスモニタでは、プリンタおよび現在の印刷ジョブの進捗状況をモニタすることができます。ステータスモニタを開く場合は、次のいずれかのステップを踏んでください。

➜ Windows Me/98/95/2000/NT 4.0 ：[スタート] メニューから [プログラム] を選び、[MINOLTA-QMS PagePro 1250E] を選んでから [MINOLTA-QMS PagePro 1250E プリンタツール] を選択してステータスモニタを表示させます。

➜ Windows XP：[スタート] メニューから [すべてのプログラム] を選び、[MINOLTA-QMS PagePro 1250E] を選んでから [MINOLTA-QMS PagePro 1250E Printer Tools] を選択して、ステータスモニタを表示させます。

ステータスモニタウィンドウのサイズを変更する

➜ ウィンドウのサイズを大きくする場合は「ビュー」メニューから「拡大」を選択します。

➜ ウィンドウのサイズを小さくする場合は「ビュー」メニューから「縮小」を選択します。

6.3 ステータスモニタを使ってジョブをモニタする

- プリンタ画像の背景が緑の時はプリンタがスタンバイモードにあるかジョブが正常に印刷されています。
- プリンタ画像の背景が赤の時はエラーが発生してジョブが中断されています。プリンタのステータスとエラーメッセージがダイアログボックスの左側に表示されます。

6.4 プリンタコントロールパネルを開く

プリンタコントロールパネルでは、プリンタの基本的な設定をチェックし変更することができます。コントロールパネルを開く場合は、次のステップを踏んでください。

1 ［スタート］メニューから［プログラム］を選び、［MINOLTA-QMS PagePro 1250E］を選んでから［MINOLTA-QMS PagePro 1250E プリンタツール］を選択してステータスモニタを表示させます。

2 ［プリンタ設定］ボタンを選択します。
または
「設定」メニューから「プリンタ設定」を選択してコントロールパネルを表示させます。

6.5 用紙タブ

用紙タブでは、次のことができます。

- 用紙サイズエラーへのプリンタの対応方法を指定する（リクエストされたサイズの用紙がない）。
- トレイ 1 を多目的（ユニバーサル）トレイとして使用するのか、それとも 1 つのサイズの用紙向けにセットされたトレイとして使用するのかを指定する。

これらの機能すべての情報については、プリンタコントロールパネルのオンラインヘルプを参照してください。

「自動継続」をオンにする
プリンタ設定タブの「自動継続」オプションでは、用紙サイズエラーにもかかわらず一定時間が経過した後に印刷ジョブを継続させるか否かを指定することができます。

設定について
用紙タブ上の「トレイ 1 の設定」については、アプリケーション側の印刷設定が優先される場合があります。

6.6 印刷設定タブ

印刷設定タブでは、次のことができます。

- 節電モードをオン / オフにする
- 形式エラーまたはメモリーオーバーフローエラーの場合の自動継続をオン / オフにする
- 高速印刷モードと通常印刷モードを切り替える
- PostScript エラーレポートの印刷をオン / オフにする
- 印刷ジョブがタイムアウトになるまでの待ち時間を設定する
- 用紙サイズエラーの検知をオン / オフにする
- ページ保護機能を有効にする（ページのデータが完全にメモリーに送られるまでプリンタが印刷を待つ）
- プリンタのパーソナリティ（PostScript、PCL または自動切替）を定義する

これらの機能すべての情報については、プリンタコントロールパネルのオンラインヘルプを参照してください。

6.7　テスト印刷タブ

テスト印刷タブでは、次のことができます。

- すべてのプリンタ機能の概要であるデモページを印刷する
- 現在のプリンタ設定をリスト表示している設定情報（コンフィギュレーション）ページを印刷する
- 名称とサンプルが付いた PCL 常駐フォントのリストを印刷する
- 名称とサンプルが付いた PostScript 常駐フォントのリストを印刷する
- LED ランプの重要な表示パターンの概要を印刷する

6.8 カウンタタブ

カウンタタブでは、次のことができます。

- カウンタの状態（現在のカウント数）をチェックする
- カウンタのリセット（トレイの 1 つで用紙カウントを新たに始める場合または消耗品を交換した後）

➜ リセットしたいカウンターの隣にある［リセット］をクリックしてください。

該当するカウンタがゼロにリセットされます。

6.9 コンフィギュレーションタブ

コンフィギュレーションタブでは、主要なプリンタ設定が簡単に参照できます。

このタブで設定を変更することはできません。

7 Macintosh プリンタドライバの使いかた

7.1 ページ属性の設定

ページ設定のダイアログボックスには、印刷する文書の形式や出力を左右する設定が含まれています。

用紙

用紙の設定では、用紙のサイズを指定することができます。サポートされている用紙サイズのリストについては、第 12 章の「仕様」を参照してください。

方向

用紙の向きの設定では、印刷するページ上での文書の向きを指定することができます。

拡大縮小

拡大縮小の設定で文書の印刷サイズを調節することができます。最大倍率は 400%、最小倍率は 25% です。

カスタムページ

1 任意の幅と高さをそれぞれのボックスに入力します。

- 最小サイズ： 76 × 127mm 3.0 × 5.0 インチ
- 最大サイズ： 216 × 356mm 8.5 × 14.0 インチ

2 「センチメートル」または「インチ」を指定して、[OK] を押します。

7.2 全体設定

このセクションではこのプリンタドライバの具体的な設定について説明します。

部数

印刷部数を指定します。1 から 999 までの値を指定することができます。

ソート

2 部以上の印刷を行う場合、ソート機能を使って排紙される文書をソートすることができます。(ページ 1、2、3...、1、2、3...、1、2、3)

給紙カセット

文書の全ページを同じトレイの用紙に印刷する場合は「全ページ」選択します。

指定したトレイの用紙に最初のページのみを印刷する場合は「最初のページ」を選択します。

文書の残りのページを「最初のページ」のトレイとは別のトレイにある用紙へ印刷する場合は「残りのページ」オプションで該当するトレイを指定します。

給紙カセットが「自動選択」に設定されている場合、指定された用紙サイズに従ってプリンタが自動的に給紙カセットを選択します。

7.3 レイアウトの設定

ページ割り付け

この設定を使うと文書中の複数のページを 1 枚の用紙に印刷することができます。ドロップダウンリストから 1、2、4、6、9 または 16 を選びます。

レイアウトの方向

1 枚の用紙に複数のページをどのようにレイアウトするか（右から左へあるいは左から右へ）を選択します。

枠線

1 枚の用紙上に表示される複数ページの間に引く罫線の種類を選択します。

7.4 プリンタ毎のオプション 1 設定

ページにあわせる

「ページにあわせる」設定では、印刷時に文書を一定の用紙サイズにあわせることができます。選択した用紙サイズにあうよう、文書が自動的に拡大または縮小されます。

ウォーターマーク

ウォーターマークは文書の性質が簡単に判別できるようにするためのものです。「極秘」や「草案」などのウォーターマークを選択して、スタイル、内容、位置を決めるオプションを設定することができます。

7.5 プリンタ毎のオプション 2 の設定

トナーセーブ

このオプションを「有効」にするとより少ないトナーを使用して印刷濃度を薄くします。

用紙の種類

このドロップダウンリストを使って印刷する用紙のタイプ（普通紙、OHP 用フィルム、厚紙、封筒または官製ハガキ）を指定します。

ファインアート

「ファインアート」設定では、文書中のテキストおよび画像イメージ印刷の質を最適化することができます。

解像度

「解像度」設定では、文書印刷時、1 インチ内に使用されるドット数を決めます。より高い解像度で印刷された文書ほど鮮明なので、印刷に時間がかかります。

トレイ 2

オプションの給紙ユニット（トレイ 2）が取り付けられている場合は「トレイ 2」設定をインストール済みに設定します。

8 プリンタの使いかた

8.1 次の点に留意してください。

用紙をセットする時に気をつける点は?

用紙の給紙エラーを防ぐために次の点を守ってください。

- 次の用紙は使用しないでください。
  - ❍ 感熱プリンタまたはインクジェット式プリンタで既に使用した用紙
  - ❍ 皺がよっている用紙
  - ❍ 表面が滑らかすぎたり、荒すぎたりして均一でない用紙
  - ❍ カーボン紙や表面に接着性のある用紙など、特殊コーティングが施されている用紙
  - ❍ 正しい角度で切断されていない用紙
  - ❍ 糊、接着剤またはクリップでとめられた用紙
  - ❍ 外れやすいラベルがついている用紙
  - ❍ 曲がったり折れ上がっている官製ハガキ
- 用紙がペーパートレイの最大補給量マークを超えないようにしてください。

封筒をセットする時に気をつける点は?

封筒の給紙エラーを避けるために、次の点を守ってください。

- 糊つきの封筒や切り取り用ミシン線、止め具、窓つきの封筒は使用しないでください。
- 折返し部分を下向きにした状態で、封筒を左向きにトレイにセットしてください。
- 折返し部分がきちんと折られていることを確認してください。

封筒を大量購入する前に、試してみてください!
プリンタに通した時に皺がよりやすい種類の封筒もあります。大量に封筒を購入する前に各メーカーの封筒を試してみてください。

どのサイズの用紙を使用することができますか？

このプリンタは以下のサイズの用紙が使用できるように設計されています。

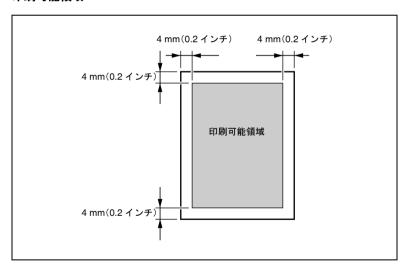
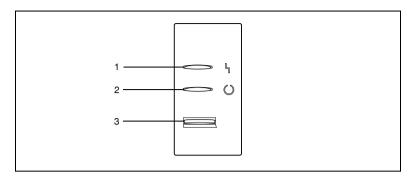
用紙サイズ	給紙カセット		
	トレイ 1	トレイ 2*（オプション）	手差しトレイ
標準サイズ			
レター 215.9 × 279.4 mm	はい	はい	はい
リーガル 215.9 × 355.6 mm	はい	はい	はい
エグゼクティブ 184.1 × 266.7 mm	はい	はい	はい
ハーフレター 139.7 × 215.9 mm	はい	いいえ	はい
A4 210 × 297mm	はい	はい	はい
A5 148 × 210mm	はい	いいえ	はい
JIS B5 182 × 257mm	はい	はい	はい
中文 16K 185 × 260mm	はい	いいえ	はい
中文 32K 130 × 185mm	はい	いいえ	はい
封筒、官製ハガキ、ユーザー設定用紙サイズ			
封筒 Monarch 98.4 × 190.5 mm	はい	いいえ	はい
封筒 COM10 104.8 × 241.3 mm	はい	いいえ	はい
封筒 DL 110 × 220mm	はい	いいえ	はい
封筒 C5 162 × 229 mm	はい	いいえ	はい
封筒 C6 114 × 162 mm	はい	いいえ	はい
封筒 B5 176 × 250mm	はい	いいえ	はい
長形 3 号 120 × 235mm	はい	いいえ	はい
長形 4 号 90 × 205mm	はい	いいえ	はい
官製ハガキ 100 × 148mm	はい	いいえ	はい
ユーザー設定 76 ～ 216mm × 127 ～ 356mm（3.0 ～ 8.5 インチ × 5.0 ～ 14.0 インチ）	はい	いいえ	はい

* オプションの給紙ユニット（トレイ 2）には A4 サイズまたはレターサイズのトレイがついています。B5（JIS）、リーガル、エグゼクティブのトレイはオプションとして用意されています。

どのような種類の用紙を使用することができますか？

このプリンタは次の用紙が使用できるよう設計されています。

用紙の種類	給紙カセット		
	トレイ 1	トレイ 2 (オプション)	手差しトレイ
普通紙 60 ～ 90 g/m^2 (16 ～ 24 lbs)	はい	はい	はい
厚紙 90 ～ 163 g/m^2 (24 ～ 43.25 lbs)	はい	いいえ	はい
封筒	はい	いいえ	はい
レターヘッド	はい	いいえ	はい
官製ハガキ	はい	いいえ	はい
OHP フィルム	はい	いいえ	はい

印刷可能領域

8.2 パネルボタンを使う

コントロールパネルにはランプが 2 つにボタンが 1 つついています。

番号	内容	番号	内容
1	エラーランプ（オレンジ）	3	パネルボタン
2	オンラインランプ（緑）		

パネルボタンを使って次のことができます。

- 特殊ページ（設定情報（コンフィギュレーション）ページ、PCL フォントリスト、PostScript フォントリスト）を印刷する
- エラーメッセージの後に印刷を継続する
- 印刷ジョブをキャンセルする
- カウンタをリセットする

特殊ページを印刷する

1 次のことを確認します。

  - 緑のランプがオンになっている（点滅はしていない）
  - オレンジの「エラー」ランプがオフになっている

2 パネルボタンを軽く押します。

  すべてのランプが高速点滅します。

3 もう一度パネルボタンを押します。

パネルボタンを押す回数	印刷する特殊ページ
2	設定情報（コンフィギュレーション）ページ
3	PCL フォントリスト
4	PostScript フォントリスト

エラーメッセージの後に印刷ジョブを継続する

以下のタイプのエラーを直した後に印刷ジョブを続けることができます。

✔ 印刷ジョブが複雑すぎてプリンタのメモリ容量が不適切な場合
✔ トレイに用紙が入っていない場合
✔ プリンタドライバで設定された形式と異なった形式の用紙がプリンタへ給紙された場合

1 上記のエラーが発生していないかどうか確認します。

2 パネルボタンを押して給紙処理を開始します。

印刷ジョブが継続します。

印刷した文書を確認してください！
印刷ジョブエラーメッセージの後に印刷ジョブを継続する場合、印刷した文書を必ず確認してください。印刷されていないページがある可能性があります。

印刷ジョブのキャンセル

現在処理中の印刷ジョブをキャンセルすることができます。

1 データ処理中または印刷中に（緑の「オンライン」ランプ点滅中に）5 秒以上パネルボタンを押し続けます。

2 両方のランプが点灯したらパネルボタンから手を離します。

これで現在処理中の印刷ジョブがキャンセルされました。

8.3 用紙のセット

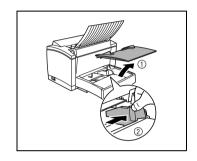
トレイ 1 へ用紙をセットする

次の点に気をつけてください。

✔ トレイが完全に空になってから給紙してください。

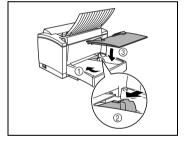
✔ 用紙のセットに関するヒントについては、8-1 ページを参照してください。

1 トレイカバーを取り外します。

2 右側の用紙ガイドをつまんで用紙ガイドを開けます。

3 トレイに用紙を置きます。

? *トレイには何枚まで用紙をセットすることができますか？*

➜ トレイ 1 は普通紙を 250 枚までセットすることができます。用紙が最大補給量マークを超えないようにしてください。

? *レターヘッドをセットする時はどうしたらいいですか？*

➜ レターヘッドをセットする時は印刷面を上向きにしてレターヘッドが（プリンタに向かって）頭側になるようにしてください。

? *リーガルサイズの用紙をセットする時はどうしたらいいですか？*

➜ トレイの前側にあるカバーを開けてください。

4 右側の用紙ガイドをつまみ、用紙幅に合わせて用紙ガイドを調節します。

5 トレイカバーを取りつけます。

手差しトレイへ用紙をセットする

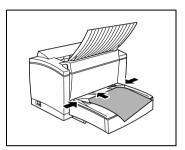
1 トレイカバーがトレイ1に適切に取りつけられていることを確認します。

2 用紙ガイドを開きます。

3 用紙を手差しトレイのなるべく奥へ（印刷面を上向きにして）差し込みます。

? *一度に何枚の用紙をセットすることができますか？*

➜ 一度にセットできる用紙は一枚または一種類のみです。

? *封筒をセットする時はどのようにすればいいですか？*

➜ 印刷面を上向きにして封筒をトレイに置いてください。封筒の折返し部分が下向きで左側になるようにしてください。

? *レターヘッドをセットする時はどのようにすればいいですか？*

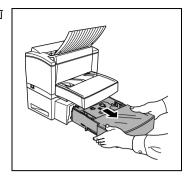
➜ レターヘッドをセットする時は印刷面を上向きにしてレターヘッドが（プリンタに向かって）頭側にくるようにしてください。

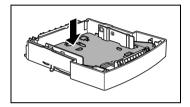
4 用紙幅に合わせて用紙ガイドを調節します。

給紙ユニット（トレイ 2）へ用紙をセットする

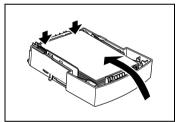
次の点に気をつけてください。

- ✔ オプションの給紙ユニット（トレイ 2）には A4 サイズのトレイがついています。
- ✔ トレイが完全に空になってから給紙してください。
- ✔ 用紙はプリンタに向かってタテ長にセットしてください。
- ✔ 用紙セットに関するヒントについては 8-1 ページを参照してください。

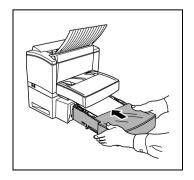
1 トレイ 2 を止まるまで引き出し、前方をゆっくりと上げながら残りを手前へスライドして、トレイ 2 を給紙ユニットから取り外します。

2 トレイからカバーを取り外します。

3 用紙押し上げ板をロックして止まるまで押し下げます。

4 トレイに用紙を置きます。

? *トレイには何枚までセットすることができますか？*

➜ トレイ 2 は普通紙を 500 枚までセットすることができます。用紙が最大補給量マークを超えないようにしてください。

? *レターヘッドをセットする時はどのようにすればいいですか？*

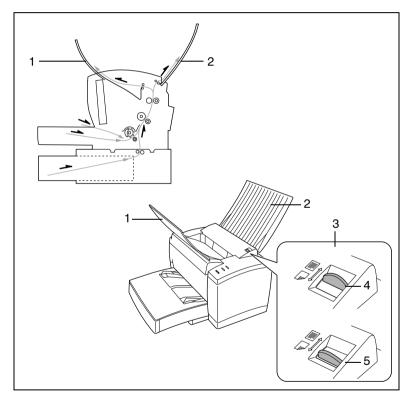
➜ レターヘッドをセットする時は印刷面を上向きにしてレターヘッドが（プリンタに向かって）頭側になるようにしてください。

5 トレイカバーを取りつけてトレイを給紙ユニットへ差し込みます。

8.4 印刷する面の方向を決める

印刷する用紙は 2 つの方法で出力することができます。

- フェースダウン（印刷面が下）
- フェースアップ（印刷面が上）

プリンタにはフェースダウン出力用のトレイがついています。フェースアップ出力用のトレイはオプションで取りつけることができます。
フェースアップ出力用のトレイは用紙をより直線的にプリンタを通すので、特に厚紙や封筒に適しています。

フェースダウントレイには最大 100 枚まで用紙を排紙することができ、フェースアップトレイには 20 枚まで排紙することができます。

番号	内容	番号	内容
1	フェースダウントレイ	4	フェースアップ出力の設定
2	フェースアップトレイ	5	フェースダウン出力の設定
3	フェースアップ／フェースダウン切り替えスイッチ		

次の点に気をつけてください。

✔ 印刷ジョブの進行中は出力の方向を変更しないでください。

✔ オプションのフェースアップトレイが取りつけられていない場合は、出力スイッチが正しい位置にあることを確認してください。

9 プリンタオプションの取りつけ

お買い求め頂いたプリンタには次のオプションを使用することができます。

- 給紙ユニット（トレイ 2、容量 500 枚）
- 給紙ユニット用 A4 のトレイ
- フェースアップトレイ
- メモリ SDRAM DIMM（デュアルインラインメモリモジュール）

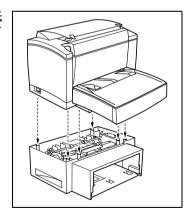
9.1 給紙ユニット（トレイ 2）の取りつけ

給紙ユニットには普通紙を 500 枚までセットすることができます。給紙ユニットは A4 トレイ（トレイ 2）がついています。

1 給紙ユニットを箱から取り出し、ビニール袋およびすべての梱包材を外します。

2 プリンタの電源を切り、電源コードとインターフェースケーブルをプリンタから外します。

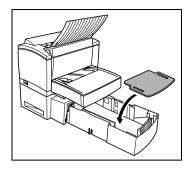
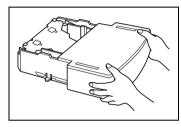
3 給紙ユニットの上にプリンタを置きます。

❍ プリンタ底面の穴の位置が給紙ユニットのピンの位置と合っていることを確認してください。

4 トレイに用紙をセットします（詳細については第 8 章を参照）。

? *トレイには何枚まで用紙をセットすることができますか？*

→ トレイ 2 には普通紙を 500 枚までセットすることができます。用紙が最大補給量マークを超えないようにします。

5 トレイカバーを取りつけます。

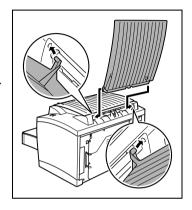
6 給紙ユニットにトレイを差し込みます。

❍ トレイを給紙ユニットに差し込むとき、または給紙ユニットから取り外すときは、必ず両手で持ってください。

7 電源コードとインターフェースケーブルを接続してプリンタの電源を入れます。

9.2 フェースアップトレイの取りつけ

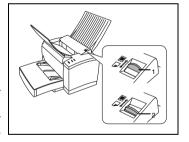
プリンタにはフェースダウントレイがついています。フェースアップトレイはオプションです。フェースアップトレイは用紙をより直線的にプリンタに通すので、厚紙や封筒に印刷するのに適しています。フェースアップトレイには用紙を 20 枚まで排紙することができます。

1 フェースアップトレイを箱から取り出します。

2 片側ずつピンをプリンタ側の穴に差し込み、フェースアップトレイを取りつけます。両側に同時に力を加えないようにしてください。

- ❍ フェースアップトレイは、差し込むときに少し曲げてください。

フェースアップトレイ / フェースダウントレイの切り替え

出力方向は切り替えスイッチを使って設定することができます(詳細については第 8 章を参照)。

番号	内容
1	フェースアップ出力の設定
2	フェースダウン出力の設定

9.3 DIMM（メモリ）のインストール

プリンタには、標準で 16 MB のメモリが搭載されています。市販の PC/100 互換性 SDRAM DIMM（64 MB または 128 MB）のメモリを取りつけることで、最大 144 MB まで増設することができます。

注意

DIMM が壊れる可能性があります！

→ DIMM は非常に精密にできています。取り扱いが不適切な場合、DIMM が損傷を受け使えなくなる場合があります。

→ DIMM を開梱する前にプリンタの金属部分を触って身体についている静電気を放電してください。

→ DIMM の端をもってください。

→ DIMM の接続部分を触らないようにしてください。

→ DIMM を扱う時は、必ず静電気防止マットの上で行ってください。

→ プリンタ内のプリント基板には絶対に触らないでください。

警告

感電の危険性！
プリンタには電子部品が含まれています。

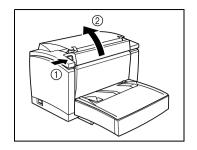
→ DIMM を取りつける際は、常にプリンタの電源を切ってコンセントから電源コードを抜いてから行ってください。

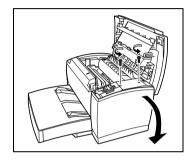
→ DIMM を取りつける際は、以下の手順どおりに行ってください。

→ 操作説明の中で記載されているプリンタカバーのみを取り外してください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードとインターフェースケーブルをプリンタから取り外します。

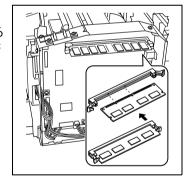
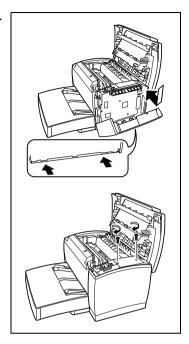
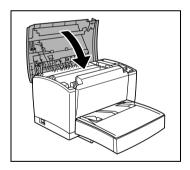
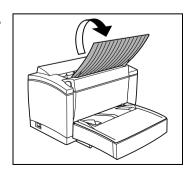
2 フェースダウントレイを閉じます。

3 上カバー開閉ボタンを押し、上カバーを開けます。

4 ドライバを使って、プリンタの右側の側面カバーをとめている 2 本のネジを取り外します。

5 側面カバーを手前に引いて取り外します。

6 DIMM をソケットに差し込みます。

❍ DIMMがソケットにロックされるまで注意深く押し込んでください。

DIMM を取り外す場合は

DIMM を取り外す場合は、ソケットの両側にあるタブを外側に押します。DIMM が外れて、取り外せるようになります。

7 側面カバーを取りつけて、2 本のネジで固定します。

8 上カバーを閉じます。

9 フェースダウントレイを開けます。

10 プリンタドライバで、プリンタの新たなメモリ容量の合計を入力します（プリンタドライバのオンラインヘルプを参照）。

11 設定情報（コンフィギュレーション）ページをプリントします（第8章を参照）。

新たなメモリ容量の合計が正しく表示されます。

? *合計メモリ容量は正確に表示されていますか？*
正確に表示されていない場合は、

→ DIMMが正しく取りつけられているかどうか確認してください。

→ プリンタドライバにプリンタの新たなメモリ容量の合計が正しく設定されているかどうか確認してください。

10 プリンタのメンテナンス

注意

付属品や部品が適切でない場合、製品に損傷を与える可能性があります！

MINOLTA-QMS 以外のメーカーの付属品や部品をご使用になった場合、当社ではレーザープリンタが正しく動作することを保証できません。

➜ 特に記載がない場合は、MINOLTA-QMS の付属品と部品のみを使用してください。

警告

トナーは健康に害があります！

トナーは飲みこむと有害です。

➜ トナーを飲みこんでしまった場合は、直ちに医師に相談してください。

➜ トナーが手についた場合は、直ちに石鹸をつけて水で洗ってください。

10.1 トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジが空になった場合または印刷が薄すぎる場合はトナーカートリッジを交換してください。

トナーカートリッジは 2 種類あります。

- 通常のトナーカートリッジは、約 5% の印字率で A4 サイズの用紙に約 3000 枚印刷することができます。
- 大容量トナーカートリッジは、約 5% の印字率で A4 サイズの用紙に約 6000 枚印刷することができます。

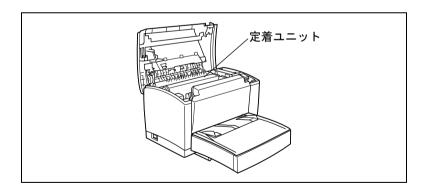
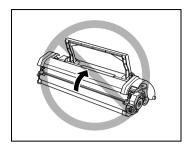
ご注意

プリンタに最初に付属しているトナーカートリッジは、約 5% の印字率で A4 サイズの用紙に約 1500 枚印刷することができます。

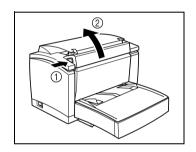
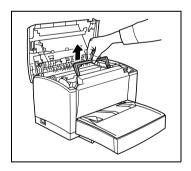
警告

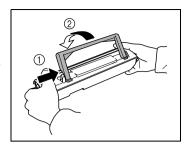
定着ユニットは非常に高温になる場合があります！

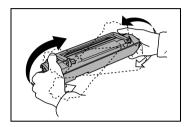
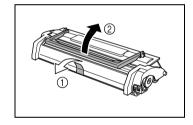
上カバーの下側にある定着ユニットはプリンタ動作中に非常に高温になる場合があります。

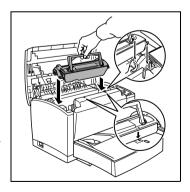
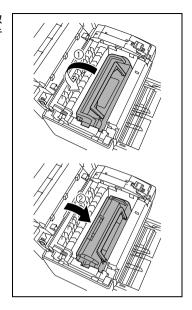
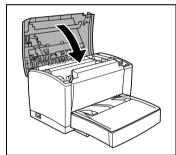
→ 危険防止のため、この部分には触れないでください。

トナーカートリッジを取り扱う際に注意する点は？
シャッターの下にある現像ローラーには絶対に触らないでください。触ると印刷の質が低下する可能性があります。

1 プリンタの電源を切り、電源コードをプリンタから外します。

2 フェースダウントレイを閉じます。

3 上カバー開閉ボタンを押して上カバーを開けます。

4 古いトナーカートリッジを取り外します。

5 ハンドルにあるマークのついた部分を押して、ハンドルを折りたたみます。

❍ 使用済みのトナーカートリッジは、適切に処分してください。

6 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

7 トナーカートリッジを両手でしっかりと押さえて左右に振り、トナーを均一にします。

8 トナーカートリッジから保護シールを完全にはがし、ハンドルを持ち上げます。

9 ハンドルを持ち、トナーカートリッジをプリンタ内部へ下ろします。この時、4つ（片側2つずつ）のピンをプリンタ内側の溝に入るようにします。

❍ トナーカートリッジとプリンタ内部には同じ色の「2」というラベルがついています。このラベルの位置が合うようにトナーカートリッジを取りつけてください。

❍ トナーカートリッジが完全に取りつけられるとカチッという音がします。

10 上カバーをゆっくり押し下げて確実に閉じます。

トナーカートリッジのカウンタのリセット

トナーカートリッジを交換した後、トナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。

カウンタのリセットは、プリンタコントロールパネルのカウンタタブでリセットすることもできます！
第 6 章またはプリンタコントロールパネルのオンラインヘルプを参照してください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 パネルボタンを押しながら、プリンタの電源を入れます。

 緑の「オンライン」ランプが点滅を開始します。

3 パネルボタンを押し続けると、緑の「オンライン」ランプが点滅します。

4 緑の「オンライン」ランプが約 5 秒間点滅してから、パネルボタンから手を離します。

 両方のランプが点滅します。

5 両方のランプが点滅していることを確認してから、パネルボタンを約 5 秒間押し続けます。

 両方のランプが約 5 秒間点灯した後、再び点滅します。

 これでトナーカートリッジのカウンタはリセットされました。

6 プリンタの電源をいったん切ってからもう一度入れます。

 プリンタが再びスタンバイモードに入ると、緑の「オンライン」ランプが点灯します。

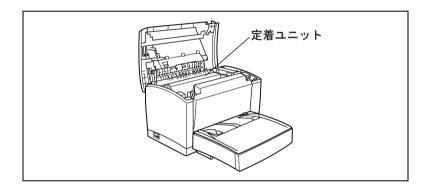
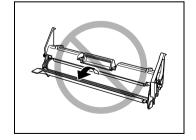
10.2 ドラムカートリッジの交換

印刷がかすんだりぼやけたりしてきたら、ドラムカートリッジを交換してください。

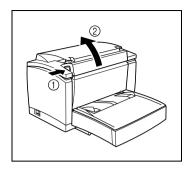
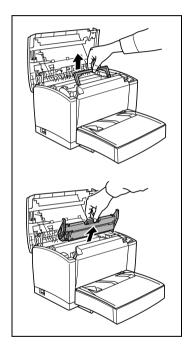
ドラムカートリッジの容量は、A4 サイズの用紙で約 16,000 枚（単ページ印刷の場合）から 20,000 枚（連続印刷の場合）です（平均印字率 5% 以下の場合）。

警告

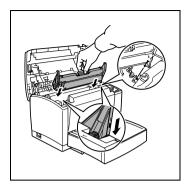
定着ユニットは非常に高温になる場合があります！
上カバーの下側にある定着ユニットはプリンタ動作中に非常に高温になる場合があります。

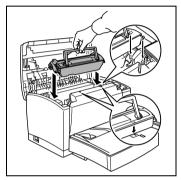
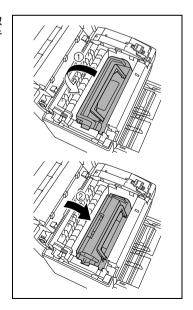
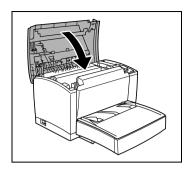
→ 危険防止のため、この部分には触れないでください。

ドラムカートリッジを取り扱う際に注意する点は？
シャッターの下にあるドラムには絶対に触らないでください。触ると印刷の質が低下する可能性があります。

1 プリンタの電源を切り、電源コードを外します。

2 フェースダウントレイを閉じます。

3 上カバー開閉ボタンを押し、上カバーを開けます。

4 トナーカートリッジと古いドラムカートリッジを取り外します。

5 新しいドラムカートリッジを箱から取り出します。

6 ドラムカートリッジのガイドをプリンタ内部の溝に合わせて、ドラムカートリッジを取り付けます。

❍ ドラムカートリッジとプリンタ内部には同じ色の「1」というラベルがついています。このラベルに位置が合うようにドラムカートリッジを取りつけます。

7 4つ（片側2つずつ）のピンがプリンタ内部の溝に入るようにして、トナーカートリッジをプリンタに取りつけます。

❍ トナーカートリッジとプリンタ内部には同じ色の「2」というラベルがついています。このラベルに位置が合うようにトナーカートリッジを取りつけてください。

❍ トナーカートリッジが完全に取りつけられるとカチッという音がします。

8 上カバーをゆっくり押し下げて確実に閉じます。

ドラムカートリッジのカウンタのリセット

ドラムカートリッジを交換した後、ドラムカートリッジのカウンタをリセットしてください。

カウンタののリセットは、プリンタコントロールパネルのカウンタタブでリセットすることもできます！
第6章またはプリンタコントロールパネルのオンラインヘルプを参照してください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 パネルボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。

緑の「オンライン」ランプが点滅します。

3 パネルボタンを押し続けると、緑の「オンライン」ランプが点滅します。

4 緑の「オンライン」ランプが約5秒間点滅してから、パネルボタンから手を離します。

両方のランプが点滅します。

5 両方のランプが点滅していることを確認してから、パネルボタンをすばやく押します。

両方のランプが約5秒間点灯した後、再び点滅します。

これでドラムカートリッジのカウンタはリセットされました。

6 プリンタの電源をいったん切ってからもう一度入れます。

プリンタが再びスタンバイモードに入ると、緑の「オンライン」ランプが点灯します。

10.3 プリンタのクリーニング

ほこり、ちり、紙屑がプリンタやプリンタ内部にたまるのを防ぐために、定期的にプリンタを清掃してください。

プリンタ外部のクリーニング

1 プリンタの電源を切り、電源コードを外します。

2 プリンタの外側をやわらかい布でふきます。中性の家庭用洗剤を布にしみこませても構いません。

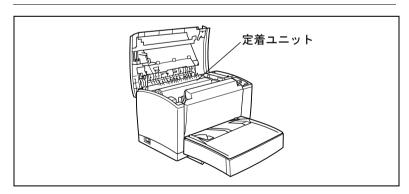
給紙ローラーのクリーニング

紙づまりが頻繁に起こる場合は、給紙ローラーをクリーニングしてください。

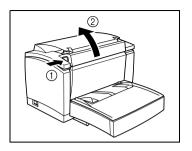
警告

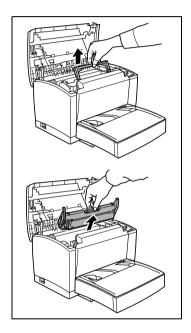
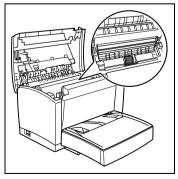
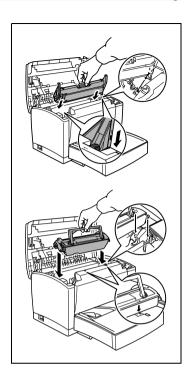
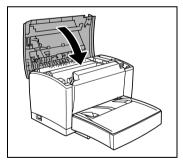
定着ユニットは非常に高温になる場合があります！
上カバーの下側にある定着ユニットはプリンタ動作中に非常に高温になる場合があります。

➜ 事故を防ぐために、この部分には触れないでください。

➜ プリンタの電源を切った後、少なくとも 10 分間おいてからプリンタ内部を清掃してください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードを外します。

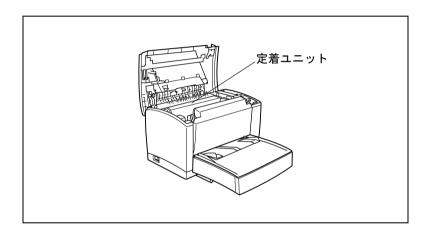
2 フェースダウントレイを閉じます。

3 上カバー開閉ボタンを押し、上カバーを開けます。

4 トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外します。

ドラムカートリッジは、露光しないように布で覆ってください。

5 給紙ローラーをやわらかい乾いた布でふきます。

6 ドラムカートリッジとトナーカートリッジを取りつけます。

7 上カバーをゆっくりと押し下げて確実に閉じます。

11 トラブルシューティング

警告

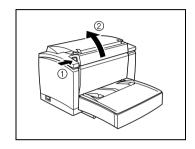
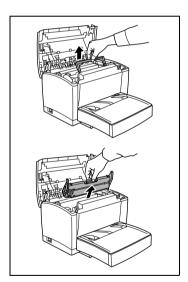
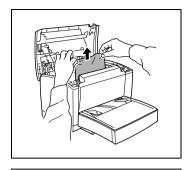
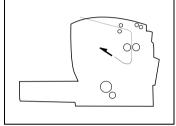
定着ユニットは非常に高温になる場合があります！
上カバーの下側にある定着ユニットはプリンタ動作中に非常に高温になる場合があります。

➜ 危険防止のため、この部分には触れないでください。

11.1 紙づまりを取り除く

プリンタ内部の紙づまりを取り除く

1 プリンタの電源を切ります。

2 フェースダウントレイを閉じます。

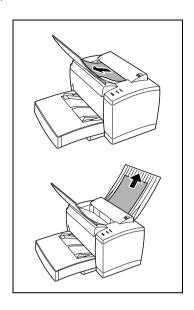
3 上カバー開閉ボタンを押して、上カバーを開けます。

4 トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外します。

5 つまった用紙をプリンタから完全に取り除きます。

❍ 定着ユニットで紙づまりが起きた場合は、用紙の下側をつまんで引き出します。

6 ドラムカートリッジを取りつけます。

7 トナーカートリッジを取りつけます。

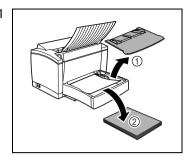
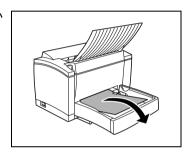
8 上カバーを閉じてフェースダウントレイを開きます。

❍ 紙づまりになったページから自動的に印刷が再開されます。

排紙トレイでの紙づまりを取り除く

1　紙づまりになった用紙を注意深くトレイから引き出します。

2　プリンタをリセットするため、上カバーを開けてから閉じます。

トレイ１につまった用紙を取り除く

1 トレイカバーを取り外し、トレイ１にある用紙を取り除きます。

2 紙づまりになった用紙をトレイ1から注意深く引き抜きます。

3 トレイ１に用紙をセットして、トレイカバーを取りつけます。

❍ 曲がったり皺になったりした用紙はセットしないでください。

4 トレイ１をプリンタに取りつけます。

5 フェースダウントレイを閉じて、上カバーを開きます。

6 破れた用紙やプリンタ内に残っている用紙を取り除きます。

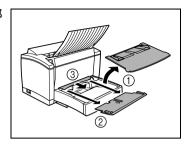
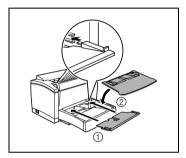
7 上カバーを閉じてフェースダウントレイを開きます。

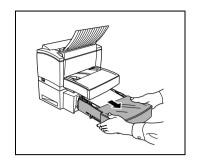
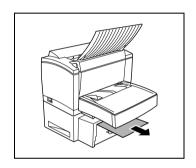
8 プリンタをリセットするため、上カバーを開けてから閉じます。

❍ 紙づまりになったページから自動的に印刷が再開されます。

手差しトレイにつまった用紙を取り除く

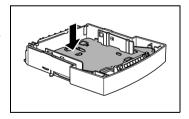
1 トレイ1のカバーと手差し部の内部トレイを取り外します。

2 紙づまりになった用紙を取り除きます。

3 手差し部の内部トレイとトレイ1のカバーを取りつけます。

給紙ユニット（トレイ 2）につまった用紙を取り除く

1 給紙ユニットからトレイをスライドさせて取り出します。

2 給紙ユニットの内側から、曲がった用紙やつまった用紙を取り除きます。

3 トレイカバーとトレイ内の用紙を取り除きます。

4 紙づまりになった用紙をトレイから注意深く引き出します。

5 用紙をトレイにセットします。

- ❍ 用紙を均一に並べ、用紙が給紙トレイの最大補給量マークを超えないようにしてください。
- ❍ 曲がったり皺になったりした用紙はセットしないでください。

6 トレイカバーを取りつけて、給紙ユニットの中へトレイを差し込みます。

7 プリンタをリセットするため、プリンタの上カバーを開けてから閉じます。

- ❍ 紙づまりになったページから自動的に印刷が再開されます。

11.2 印刷時の一般的な問題

問題	考えられる原因	対処法
出力されない	プリンタが電源に接続されていないか、ケーブルがプリンタに接続されていません。	電源の接続とインターフェースのプリンタへの接続を確認してください。
	プリンタの電源が入っていません。	プリンタの電源を入れてください。
	インターフェースケーブルの種類が間違っています。	インターフェースケーブルの種類が仕様にあっているかどうか確認してください。（第 12 章参照）
	コンピュータの通信ポートの設定がプリンタに適合していません。	コンピュータの通信ポートの設定を確認してください。コンピュータ付属の説明書を参照し、現在の通信ポートの設定が正しいかどうか確認してください。
	コンピュータのパラレルポートが他の機器（スキャナや ZIP ドライブ）で使用されています。	他の機器の接続を外し、このポートを使用してプリンタを動作させてください。

11.3 印刷の品質の問題

印刷の品質に問題がある場合は、次のステップにしたがってください。

- トナーカートリッジを取り外して前後に振り、トナーを均一に配分してください。
- トナーカートリッジを取り外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じて新しいカートリッジに交換してください（第 10 章参照）。
- ドラムカートリッジを取り外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じて新しいカートリッジに交換してください（第 10 章参照）。
- プリンタ内部をクリーニングしてください（第 10 章参照）。
- プリンタドライバのトナーセーブ機能を無効にしてください（第 4 章を参照）。

問題	考えられる原因	対処法
印刷されずにページが空白のままである	トナーカートリッジが空になっているか損傷しています。	トナーカートリッジを取り外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
ページが黒くなる	トナーカートリッジが損傷しています。	トナーカートリッジを取り外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
印刷濃度が薄すぎる ABCDE ABCDE ABCDE ABCDE	トナーセーブモードが有効になっています。	プリンタドライバの設定を確認してください。設定を変更してもう一度印刷してみてください（第 4 章参照）。
	プリンタドライバでトナー濃度が正しく設定されていません。	トナー濃度を希望のレベルに設定して、もう一度印刷してみてください（第 4 章参照）。
	トナーカートリッジのトナーが切れている可能性があります。	トナーカートリッジを取り外して振り、残っているトナーの配分を均一にしてください。問題が解決しない場合には、トナーカートリッジを取り替えてください（第 10 章参照）。
	トナーカートリッジが損傷しています。	トナーカートリッジを外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。

問題	考えられる原因	対処法
印刷濃度が濃すぎる	トナーカートリッジが損傷しています。	トナーカートリッジを外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
	プリンタドライバでトナー濃度が正しく設定されていません。	トナー濃度を希望するレベルに設定してください（第 4 章参照）。
背景がぼやける	トナーカートリッジが損傷しています。	トナーカートリッジを外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
トナー濃度が均一でない	トナーカートリッジが損傷しています。	トナーカートリッジを外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
	ドラムカートリッジが損傷しています。	ドラムカートリッジを外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてドラムカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
	トナーカートリッジ内でトナーの配分が均一でない可能性があります。	トナーカートリッジを取り外して振り、トナーの配分を均一にしてください。問題が解決しない場合はトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
印刷もれが生じたり、テキストが抜けたりする	高湿度あるいは水がかかったために、用紙が湿ってます。	使用中の用紙を乾いた用紙に取り替えて、もう一度印刷してみてください。

問題	考えられる原因	対処法
白または黒い線がでる	トナーカートリッジが損傷しています（白い線の場合）。 ドラムカートリッジが損傷しています（黒い線の場合）。	トナーカートリッジ / ドラムカートリッジを取り外して、損傷がないかどうか確認してください。 必要に応じてトナーカートリッジ / ドラムカートリッジを交換してください。
トナーの汚れ	トナーカートリッジが損傷しています。	トナーカートリッジを外して、損傷がないかどうか確認してください。必要に応じてトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
	トナーカートリッジ内でトナーの配分が均一でない可能性があります。	トナーカートリッジを取り外して振り、残っているトナーの配分を均一にしてください。問題が解決しない場合はトナーカートリッジを交換してください（第 10 章参照）。
	給紙ローラーが汚れています。	給紙ローラーをクリーニングしてください（第 10 章参照）。

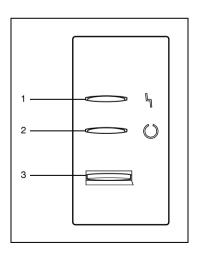
11.4 プリンタメッセージ

ランプの機能

コントロールパネルにはランプが２つとボタンが１つついています。コントロールパネルのランプはプリンタの状況を示しています。

番号	内容
1	エラーランプ（オレンジ）
2	オンラインランプ（緑）
3	パネルボタン

ランプには５種類の信号があります。

- オフ
- オン
- 早く点滅ー１秒に２回点滅
- 点滅ー１秒に１回点滅
- ゆっくり点滅ー２秒に１回点滅

ステータスメッセージ

ステータスメッセージは現在のプリンタの状況を示すメッセージです。

オンラインランプ（緑）	エラーランプ（オレンジ）	プリンタの状況	対処
オフ	オフ	オフ	無し
オン	オフ	印刷準備完了	無し
早く点滅	オフ	ウォームアップ中	無し
点滅中	オフ	データ受信中	無し
		データ処理中	
		印刷中	
オン	オン	初期化中	無し
		印刷ジョブをキャンセルしています	
		カウンタをリセットしています	
ゆっくり点滅	オフ	節電モード	無し
早く点滅	早く点滅	リセットモード	無し
		デモページ / 設定情報（コンフィギュレーション）ページ 選択モード	

エラーメッセージ

印刷ジョブを継続したりプリンタステータスを「オンライン」にするために修正しなければならない問題の内容を示すエラーメッセージです。

オンラインランプ（緑）	エラーランプ（オレンジ）	プリンタの状態	対処
点滅中	点滅中	メモリ容量が不足しているか印刷ジョブが複雑すぎます。 プリンタツールで「自動継続」機能が有効になっています。既に給紙された用紙は事前に設定した時間が経過した後、自動的に排出されます（第 6 章参照）。	プリンタのメモリ（DIMM）を増やすか印刷ジョブのサイズを縮小してください。

オンラインランプ（緑）	エラーランプ（オレンジ）	プリンタの状態	対処
交互に早く点滅		プリンタドライバで指定されたトレイに用紙が入っていません。	該当するトレイに用紙をセットしてください。
		用紙サイズエラー	適切なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
		マニュアル両面印刷中に、トレイ 1 への用紙セット待機中です。	片面印刷を終えた用紙の裏を上向きにして、トレイ 1 へ正しくセットしてください。（注：手差しトレイから両面印刷はできません）
オフ	ゆっくりと点滅	トレイが空になっています	用紙を該当するトレイにセットしてください。
オフ	点滅中	紙づまり	つまった用紙を取り除いて印刷ジョブを続けてください。
オフ	オン	上カバーが開いています。	上カバーを閉じてください。

サービスメッセージ

このメッセージは、承認されたサービス技術者のみ修復可能という重大な欠陥を示すメッセージです。このメッセージが表示されたら、プリンタの電源を切ってもう一度電源を入れてください。問題が解決しない場合は、販売店または認定サービス業者に連絡してください。

オンラインランプ（緑）	エラーランプ（オレンジ）	状態	アクション
オフ	早く点滅	致命的なエラー	プリンタの電源を切ってからもう一度電源を入れてください。問題が解決しない場合は、テクニカル・カスタマサービスへ連絡してください。

12 仕様

12.1 安全仕様

プリンタ	
安全標準	米国モデル： UL 60950、CSA C22.2 No. 60950 ヨーロッパモデル：SEU Directive 73/23/EEC EN 60950（IEC 60950） 中国モデル： GB 4943
EMC 標準	米国モデル： FCC パート 15 サブパート B クラス B ICES-003 ヨーロッパモデル：EU Directive 89/336/EEC EN 55022（CISPR Pub. 22）クラス B EN 61000-3-2 EN 61000-3-3 中国モデル： GB 9254 クラス B オーストラリアモデル：AS/NZS 3548 クラス B

12.2 技術仕様

プリンタ

タイプ	デスクトップ型レーザービームプリンタ
印刷方式	静電気ドライパウダー・イメージングシステム
露光方式	レーザーダイオード＋ポリゴンミラースキャン
開発システム	電子写真印刷システム
解像度	1200 dpi × 1200 dpi（半分の速度で） 600 dpi × 600 dpi
ラスタライズの方法	PCL6 と PostScript レベル２のエミュレーション
印刷速度	600 dpi：16 枚 / 分（A4/ レター） 1200 dpi：8 枚 / 分（A4/ レター）
最初のページの印刷所要時間	600 dpi：15 秒以下（A4/ レター） 1200 dpi：24 秒以下（A4/ レター）
ウォームアップ時間	7 秒以下

用紙サイズ	・ 用紙ー A4、A5、B5 JIS、レター、リーガル、エグゼクティブ、ハーフレター、中文 16K、中文 32K、カスタム用紙サイズ ・ 封筒ー長形 3 号、長形 4 号、Commercial 10、Monarch、DL、C5、C6、B5 ・ 官製はがき
用紙種類	・ 普通紙（60 ～ 90 g/m^2、16 ～ 24 lbs） ・ OHP フィルム ・ 封筒 ・ 厚紙（90 ～ 163 g/m^2、24-1/4 ～ 43 lbs） ・ 官製はがき
給紙トレイ	・ トレイ 1（ユニバーサルトレイ） ・ 手差しトレイ ・ 給紙ユニット（トレイ 2）（オプション）
給紙容量	・ トレイ 1（ユニバーサルトレイ）: 250 枚 ・ 手差しトレイ : 1 枚 ・ 給紙ユニット（オプション : 500 枚）
排紙容量	・ フェースダウントレイ : 100 枚 ・ フェースアップトレイ（オプション）: 20 枚
動作温度	10° ～ 35° C（50° ～ 95° F） （1 時間あたり 10° C（18° F）の温度変化）
動作湿度	15 ～ 85 %（1 時間あたり 20%の湿度変化）
ドラムカートリッジ	印字率 5%以上でレターと A4 サイズ 20,000 枚印刷
トナーカートリッジ	印字率 5%以上でレターと A4 サイズをタイプ 1 で 6,000 枚、タイプ 2 で 3,000 枚印刷 同梱のカートリッジは 1,500 枚分
電源	110 ～ 127 V、50 ～ 60 Hz 220 ～ 240 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	120 V : 840 W 以下 220 ～ 240 V : 850 W 以下
電流	120 V : 7.2 A 以下 220 ～ 240 V : 3.8 A 以下
外形寸法（フェースダウントレイが閉じた状態）	高さ : 259 mm（10.2 インチ） 幅 : 389 mm （15.3 インチ） 奥行き :441 mm（17.4 インチ）
重量	プリンタ : 約 7 kg（3.2 lbs） ドラムカートリッジ : 約 0.3 kg（0.1 lbs） トナーカートリッジ : 約 0.5 kg（0.2 lbs）
インターフェース	IEEE 1284 パラレル（Compatible/Nibble/ECP） USB（Revision 1.1 準拠）
CPU	Destiny ASIC D8401 75MHz
標準メモリ	16 MB（144 MB まで増設可）
オプション	・ 給紙ユニット（トレイ 2） ・ 給紙ユニット用 B5（JIS）、リーガル、エグゼクティブのトレイ ・ フェースアップトレイ ・ 増設メモリ（SDRAM-DIMM）

給紙ユニット（オプション）

用紙トレイ	標準トレイ：A4 またはレター トレイ（オプション）：B5（JIS）、リーガル、エグゼクティブ
用紙 / メディア	普通紙（60 ～ 90 g/m^2；16 ～ 24 lbs）
容量	500 枚
外形寸法 （用紙カセットなしで）	高さ： 132 mm（5.2 インチ） 幅： 382 mm （15.0 インチ） 奥行き：305 mm（12.0 インチ）
重量	約 4 kg（1.8 lbs）

SDRAM-DIMM 増設メモリ（オプション）

容量	64, 128MB
機能タイプ	バーストモード
CAS レーテンシ	2 もしくは 3
ECC	なし（ECC でも使用可）
アクセススピード	10ns
ピン数	168
モジュールタイプ	SDRAM-DIMM （Double In-line Memory Module）
動作電圧	3.3V

パラレルインターフェースコネクタとケーブル

コネクタ	プリンタ： パラレル 36 ピンコネクタ コンピュータ： EIA 25- ピンコネクタ
ケーブルタイプ	シールドタイプ 各信号線とグランド線がツイストペアになっていること。
ピン割り当て	IEEE 1284、type-B コネクタ

USB インターフェースコネクタとケーブル

コネクタ	プリンタ： シリーズ B プラグ コンピュータ： シリーズ A プラグ
ケーブルタイプ	ツイストデータコンダクタもしくはシールドされたコンダクタが必要
ピン割り当て	1：V_{BUS} 2：D+ 3：D- 4：GND シェル：シールド

注意

ケーブルから生じ得る火災の危険

→ MINOLTA-QMSはケーブルへの品質保証はおこないません。ユーザーがケーブルの品質と性能に対して一切の責任を負うものとします。

12.3 環境保護への当社の関心

このプリンタは、通産省より発行されたエネルギーの効率的使用のための「国際エネルギースター計画制度」の対象製品基準に適合しています。

国際エネルギースター計画対応プリンタとは

国際エネルギースター計画対応プリンタとは、電気の節約および資材の節約を目的とする国際エネルギースター計画に対応して作られたプリンタであり、本機においては一定時間印刷が行われない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により、プリンタ未使用時の効率的な電力の使用ができます。

12.4 FCC パート 15 - Radio Frequency Devices

米国のユーザー対象

FCC : 適合性宣言	
製品タイプ	レーザー光源プリンタ
製品名	PagePro 1250E
オプション	・ 下段のフィーダユニット (4198) ・ フェースアップトレイ ・ 拡大メモリ
本製品は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。 稼動の際、下記２つの条件の対象となります : ・ 当製品は有害な障害は引き起こしません。また、当製品は受信されるすべての障害を受け入れるものとします（望ましくない作動状態の原因になる障害も含む）。	

ご注意 : 当製品は試験済みであり、FCC 規則パート 15 に追随するクラス B デジタル機器の制限事項に準拠しています。この制限事項はご自宅での取り付けの際、有害な障害に対し妥当な保護を提供すべく考案されています。本説明書に準拠しない方法で設置、使用された場合、当製品はラジオ周波数エネルギーを発生、使用、または放射することがあるため、有害な障害を引き起こす可能性があります。しかし、任意の取り付けにおいて、一切の障害がおこらないという保証はありません。取り付け後、当製品の電源を切り替えてラジオやテレビの受信への障害を確認した後、必要に応じて下記の方法でインターフェースの修正を行なって下さい。

- 受信アンテナの場所や方向を変える。
- 製品とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続された電源とは異なる電源コンセントに製品を接続する。
- 取扱店か、ラジオやテレビの技術専門家に相談する。

警告 : 当製品の設計および製造は FCC 規制に準拠しており、当製品のいかなる変更および修正も FCC に登録されるものであり、FCC の管理対象となります。製造元への事前通知なしに、購入者あるいはユーザーが当製品に手を加えることは、FCC 規則の違反とみなされます。

当製品にはシールドパラレルインターフェースケーブルおよびシールド USB インターフェースケーブルを使用してください。

シールドされていないケーブルを使用すると、ラジオ通信に支障をきたすおそれがあり、FCC 規制により禁止されていています。

12.5 Interference-Causing Equipment Standard (ICES-003 ISSUE 3)

カナダのユーザー対象

このクラス B のデジタル製品はカナダの ICES − 003 に準拠しています。

Cet appareil numéique de la クラスe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

12.6 CE Marking（適合性宣言）

ヨーロッパのユーザー対象

この製品は以下の EU 指令に準拠しています：89/336/EEC、73/23/EEC、93/68/EEC 指令

この宣言は欧州連合〈EU〉のみで有効です。

当製品にはシールド・パラレル・インターフェース・ケーブルとシールド USB インターフェースケーブルを使用してください。シールドされていないケーブルを使用すると、ラジオ通信に支障をきたす恐れがあり、89/336/EEC の規制により禁止されています。

12.7 CISPR 22 および各地のルール

当製品にはシールド・パラレル・インターフェース・ケーブルとシールド USB インターフェース・ケーブルを使用してください。
　シールドされていないケーブルを使用すると、ラジオ通信に支障をきたす恐れがあり、これは CISPR 22 および該当地域の規制により禁止されています。

12.8 Acoustic Noise

Machine Noise Regulation（機器雑音規格）3 GSGV、18.01.1991：EN27779 は、オペレーターの位置における音圧レベルは 70dB（A）以下と指定しています。

12.9 安全情報

ここでは、本製品の操作と保守に関連する詳細情報が含まれています。当製品を最大限に活用していただくため、ユーザーの皆様は本説明書の説明を熟読し、それに準拠するものとします。本製品の周辺に本書を常備しください。

使用前に次のセクションをお読みください。ユーザーの安全と故障防止に関連する重要な情報が掲載されています。

本説明書に明記された全ての注意事項を守るようにして下さい。

＊ ご購入いただきました製品によっては本項の内容と一部合致しないものもありますのでご了承ください。

警告および注意すべき兆候

⚠ 警告	この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみを負う可能性が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

三角記号は注意を促す内容を告げるものです。

この記号はやけどの原因となる高温部分があることを警告します。

斜線記号は禁止の行為を告げるものです。

この記号は製品の解体に対する警告を示しています。

黒い丸は、必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

この記号が表示された場合、本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

	・ 本製品を改造しないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。また、レーザーを使用している製品にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ・ 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	・ 同梱の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。 ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災や感電のおそれがあります。 ・ たこあし配線はしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると火災や感電のおそれがあります。
	・ 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。火災・感電のおそれがあります。
	・ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災や感電のおそれがあります。
	・ 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線など）を使用すると火災のおそれがあります。 万一このような状態を発見した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡下さい。 ・ 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災や感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービスマンにご連絡下さい。
	・ 本製品の上に水などの入った花瓶などの容器やクリップなどの小さな金属物などを置かないで下さい。こぼれて製品内に入った場合、火災・感電のおそれがあります。 ・ 万一、金属片・水・液体などの異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。
	・ 製品が異常に熱くなったり、煙、悪臭、異音が発生したりするなどの異常が生じた場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。 ・ 本製品を落としたり、カバーを破損した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。そのままお使いになると、火災や感電につながるおそれがあります。
	・ トナーもしくはトナーカートリッジを火に投げ込まないで下さい。燃えたトナーが飛び散り、火傷や他の損傷につながるおそれがあります。
	・ 必ずアース接続してください。

⚠ 注意

	・ 本製品の周囲で引火性のスプレーや液体、ガス等を使用しないで下さい。火災の原因となります。 ・ トナーユニットやドラムユニットなどを子供の手の届くところに放置しないでください。舐めたり食べたりすると、健康に障害をきたす原因になることがあります。 ・ 本製品の通風孔をふさがないでください。製品内部の温度変化により機能障害や火災、感電の原因となります。 ・ 本製品を直射日光の当たる場所や、エアコン、暖房器具のそばに設置しないでください。製品内部の温度変化により機能障害や火災、感電の原因となります。 ・ 本製品をホコリの多い場所や調理台、風呂場、加湿器のそばなど油煙のあたる場所には置かないでください。火災、感電、故障につながるおそれがあります。 ・ 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして、ケガや故障の原因となることがあります。 ・ 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。 ・ トナーユニットや PC ドラムユニットは、フロッピーディスクや時計などの磁気に弱いものの近くには保管しないでください。本製品の機能に障害を与える可能性があります。 ・ 緊急の際に簡単に電源プラグを抜けるよう、電源プラグの周りには何も置かないで下さい。 ・ 静電気放電がプリンタを傷める可能性があるため、一番上のカバーとその下のカートリッジの間にある、電気コンタクトの部分には手を触れないようにして下さい。
	・ 製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙詰まりの処置など内部を点検するときには「高温注意」を促す表示がある部分（定着ユニット等）には触れないようにして下さい。
	・ 緊急の際、ただちに電源コードが引き抜けるように、コンセントが本製品のそばに配置され、簡単にアクセスできる状態にしてください。 ・ 本製品を換気の良い場所で使用してください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性がありますので、定期的に部屋の換気などをしてください。 ・ 本製品を移動する際は、先ず電源コードやケーブルを外して下さい。これを怠ると、電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電・故障につながる可能性があります。 ・ 本製品を移動する時は、説明書などで指定された位置を持って動かしてください。製品が落ちると、ケガや製品の変形、さらに故障の原因となります。 ・ 1 年に一度は電源プラグをコンセントから抜いて、プラグ端末のまわりを掃除して下さい。埃がたまると火災につながるおそれがあります。 ・ 電源プラグを抜く時は必ずプラグを持って抜いて下さい。電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電につながります。

12.10 レーザープリンタの安全な使用方法

利用者の安全および操作上の安全に関する注意

プリンタを正しくご使用にならないと、健康を害し、感電や、火災の危険につながる可能性があります。レーザープリンタの使用前に、お客様の安全と操作上の安全に関する情報にじっくりと目を通して下さい。

注意

以下の事項を守って下さい。

- ➜ 電源コードが正しくコンセントに差し込まれており、コンセントに常時、簡単にアクセスできる状態を保ってください。
- ➜ コードを傷める可能性があるため、コンセントからプラグを抜く時はコードの部分を引っ張らないで下さい。傷んだコードにより感電や火災につながる危険があります。
- ➜ 長時間にわたり、製品が使用されない時はプラグをコンセントから抜いて下さい。
- ➜ 濡れた手で電源コードをコンセントから抜かないで下さい。感電のおそれがあります。
- ➜ 電源コードをコンセントから抜いてから製品を移動させて下さい。コードの傷みの原因となり、その結果ショートしたり、火災につながる可能性があります。
- ➜ 重いものを電源コードの上に載せないで下さい。また、電源コードを引っ張ったり、もつれさせたりしないで下さい。コードが傷む可能性があり、それにより、感電や火災につながります。
- ➜ 本製品が別製品のコード上に置かれていないように気をつけて下さい。火災や機能障害の原因となります。
- ➜ 本製品に正しい電圧が使用されていることを確認して下さい。火災や感電につながる可能性があります。
- ➜ 電源コードが傷んだ場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。そのままお使いになると、火災や感電につながるおそれがあります。
- ➜ 本製品の最大使用限度に耐え得る延長コードのみを使用して下さい。不適切な延長コードの使用は過熱や火災につながる可能性があります。
- ➜ 本説明書に明記された手順に従って使用して下さい。不適切な使用は火災や感電につながります。

- ➜ 本製品に重いものを載せないで下さい。
- ➜ 印刷中に本製品のカバーを開けないで下さい。
- ➜ 印刷中に電源を切らないで下さい。
- ➜ 本製品のそばに、磁気の強いものを置かないで下さい。
- ➜ 本製品のそばで、引火性のスプレイ、液体、ガスを使用しないで下さい。
- ➜ 安全装置を外さないで下さい。また、本製品を改造しないで下さい。当製品の内部には高電圧の部品が含まれます。製品の不適切な使用は火災、感電につながります。
- ➜ 紙用クリップや、ホッチキスの芯や他の金属物を製品の中に入れないで下さい。感電や火災につながります。もし金属片が製品内部に入ったら、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。
- ➜ コーヒーカップや飲み物の入った瓶や液体の入った容器を製品の上に置かないようにして下さい。万一、液体が製品の中に入ったら、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。
- ➜ 製品が異常に熱くなったり、煙、悪臭、異音が発生したりするなどの異常が生じた場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。

レーザー安全性

本機は、レーザーを使用するページプリンタです。本マニュアルに記載の指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。

レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

本機はクラス１レーザー製品として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることはありません。

内部レーザー放射

最大平均放射パワー：プリントヘッドのレーザー開口部で 35 μW

波長：770-795 nm

本機は、クラス 3b のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。

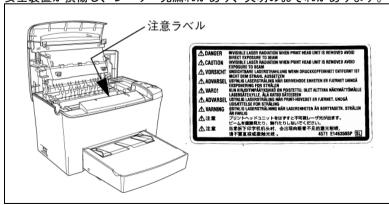
プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。

従って、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。

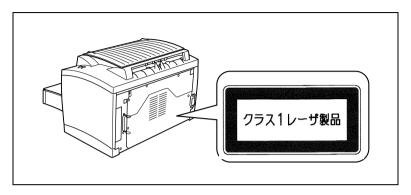
レーザー注意ラベル

下図に示すように、レーザー注意ラベルが本機に貼り付けられています。

マニュアルで指示されている以外の分解は行わないでください。

安全装置が損傷し、レーザー光漏れがあり、失明のおそれがあります。

増設メモリ及びネットワークカードの取り付けに、プラスドライバーを使用しますので、指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。

レーザー安全ラベル

下図に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。

米国のユーザー対象

CDRH 規制

本製品は 1990 年の食品医薬品化粧品法の放射基準におけるクラス 1 レーザー製品として認可されています。米国市場ではこの遵守が義務づけられており、米国厚生省〈DHHS〉の米国食品医薬品局の装置・放射能健康センター〈CDRH〉へ報告されます。これは、本製品が危険なレーザー放射を行わないことを意味します。上記のラベルは CDRH の規制に準拠していることを示し、米国内で販売される製品に添付されます。

注意

本説明書で説明された手順、調整以外による操作は危険な放射露出につながる可能性があります。

これは半導体レーザーです。レーザーダイオードの最大出力は 5mW で波長は 770-795 nm です。

その他の国のユーザー対象

注意

本説明書で説明された手順、調整以外による操作は危険な放射露出につながる可能性があります。

この製品はクラス１のレーザー製品です。これは製品が危険なレーザー放射を行なわないことを意味します。

これは半導体レーザーです。レーザーダイオードの最大出力は 5mW で波長は 770-795 nm です。

デンマークのユーザー対象

ADVARSEL
Usynlig laserstrling ved åbning, når sikkerhedsafbrydere er ude af funktion.Undgå udsættelse for stråling.

Klasse 1 laser produkt der opfylder IEC60825 sikkerheds kravene.

Dansk:Dette er en halvlederlaser.Laserdiodens højeste styrke er 5 mW og bølgelængden er 770-795 nm.

ノルウェーのユーザー対象

ADVERSEL
Dersom apparatet brukes på annen måte enn spesifisert i denne bruksanvisning, kan brukeren utsettes for unsynlig laserstråling som overskrider grensen for laser klass 1.

Dette en halvleder laser.Maksimal effekt till laserdiode er 5 mW og bølgelengde er 770-795 nm.

フィンランドおよびスウェーデンのユーザー対象

LOUKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASER APPARAT

VAROITUS!
Laitteen käyttäminen muulla kuin tässä käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

Tämä on puolijohdelaser.Laserdiodin suurin teho on 5 mW ja aallonpituus on 770 - 795 nm.

VARNING!
Om apparaten används på annat sätt än i denna bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

Det här är en halvledarlaser.Den maximala effekten för laserdioden är 5 mW och våglängden är 770 - 795 nm.

VARO!
Avattaessa ja suojalukitus ohitettaessa olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle. Älä katso säteeseen.

VARNING!
Osynlig laserstrålning när denna del är öppnad och spärren är urkopplad.Betrakta ej strålen.

オゾン放出

ご注意

本機の使用中はオゾンが発生いたしますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用するとか、大量にプリントする場合には臭気が気になることもありますので、快適な環境を保つために部屋の換気をすることをお勧めします。

Dégagement díozone

L’imprimante dégage une faible quantité d’ozone durant son utilisation.Cette quantité n’est pas suffisamment importante pour être dangereuse.Cependant, veillez à ce que la pièce dans laquelle la machine soit adéquatement ventilée, surtout en cas díimpression de gros volumes ou en cas d’utilisation continue pendant un laps de temps très long.

索引

D

M

P

U

い

う

お

か

き

く

こ

と

は

ふ

へ

め

よ

れ

わ